

教育課程（履修要項）（2019年度）聖徳大学短期大学部

目次

はじめに

| | |
|------------------------|---|
| 1. 教育課程の使い方 | 2 |
| 2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項 | 2 |
| 3. 授業計画（SYLLABUS シラバス） | 4 |

聖徳大学短期大学部

| |
|---------------------------|
| 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） |
| 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） |
| 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー） |

I. 全学共通科目 8

| | |
|----------------------|---|
| 聖徳教育、教養科目、外国語科目（別表1） | 8 |
| 健康教育科目（別表2） | 9 |
| 情報活用科目（別表3） | 9 |
| 帰国子女科目（別表4） | 9 |

II. 保育科

| | |
|-------------------------------|----|
| 第一部 幼稚園教員・保育士養成コース（別表5-1、5-2） | 14 |
| 第二部 幼稚園教員・保育士養成コース（別表6-1、6-2） | 16 |
| 図書館学講座、秘書士課程（保育科第一部のみ）（別表7、8） | 25 |

III. 総合文化学科

| | |
|-------------------------|----|
| 履修要項（各コース共通） | 31 |
| フードマネジメントコース（別表9） | 32 |
| 図書館司書・ITコース（別表10） | 36 |
| 国際観光・ホテルコース（別表11） | 40 |
| ファッショング・造形デザインコース（別表12） | 42 |

総合文化学科 各種資格

| | |
|-----------------------------------|----|
| 図書館司書（別表13） | 61 |
| 調理師受験対策講座（別表14） | 61 |
| 衣料管理士（2級）（別表15） | 62 |
| フードスペシャリスト（受験資格）（別表16） | 62 |
| ビジネス実務士・秘書士・情報処理士・観光ビジネス実務士（別表17） | 63 |

IV. 専攻科

| | |
|-------------------|----|
| 保育専攻（昼夜開講制）（別表18） | 66 |
| 医療保育専攻（別表19） | 67 |
| 服飾文化専攻（別表20） | 68 |

V. 免許・資格取得の課程履修登録（短期大学部）（別表21） 69

はじめに

この教育課程（履修要項）は、2019年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法についての説明が記載されています。本冊子は入学時に配布し、卒業時まで使用しますので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の分類

別表は、次の3つに分類されます。

(1)全学共通科目（A類）=聖徳教育科目・教養科目・外国語科目・健康教育科目・情報活用科目
（・帰国子女科目）

(2)専門教育科目（B類）=各学科・コースに設置された専門教育科目

(3)教職・資格関係科目=免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に含まれない
科目（但し、総合文化学科においては、教職・資格関係科目であっても卒業
単位数に含まれます）

特に(1)、(2)については必修科目（卒業するために必ず履修しなければならない科目）や選択必修科目（卒業するために、必ずきめられた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目）が多
数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

皆さんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「履修関係の項目」も熟読して学習に取り組んでください。

| 学期 | 春 学 期 | | | | | | | | | | 秋 学 期 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|---|---------------|---|---------|---|---------|-------------|---|---------|-------|---------|---------|---------|---------------|----------|-----------|-------------|---------|-----|---------|---------|---------|---|-----|
| | 入 学 | ⇒ | 春 学 期 授 業 開 始 | ⇒ | 課 程 登 錄 | ⇒ | 履 修 登 錄 | 履 修 取 消 期 限 | ⇒ | 試 験 | ⇒ | 成 績 発 表 | ・ 追 再 試 | ⇒ | 秋 学 期 授 業 開 始 | ⇒ | 履 修 登 錄 | 履 修 登 錄 期 限 | ⇒ | 試 験 | ⇒ | 成 績 発 表 | ・ 追 再 試 | ⇒ | 進 級 |
| 項 目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 時 期 | | | 4 月 上 旬 | | 春 学 期 | | 4 月 下 旬 | 5 月 10 日 | | 7 月 下 旬 | | 8 月 下 旬 | | 9 月 中 旬 | | 10 月 上 旬 | 11 月 10 日 | | 1 月 下 旬 | | 3 月 上 旬 | | 3 月 下 旬 | | |

①学期

1年間の学期は、春学期（4月～9月末）・秋学期（9月末～3月末）の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学修量を単位として表し、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目的単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目的授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、次の基準に基づいて行われ、100点を満点として60点以上（S・A・B・C評価）の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は90分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には135分で行われるものもあります。

④履修登録

授業科目を履修するためには、各学期開始時に履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修登録の方法については各学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間に限り認めます（春学期：5月10日まで 秋学期11月10日まで いかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません）。履修登録に際しては、慎重に履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。

なお、再履修科目と必修科目的受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦進級基準について

各年次から上級年次へ進級するには各年次終了時において、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

1年次から2年次への進級・・修得単位数 18単位以上

但し、保育科第二部においては、下記のとおりとします。

1年次から2年次への進級・・修得単位数 8単位以上

2年次から3年次への進級・・修得単位数 14単位以上

⑧卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 2年以上（保育科第二部においては3年以上）在学していること。休学期間は含まれない。
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件を満たしていること。
- (4) 授業料等校納金を完納していること。

3. 授業計画 (SYLLABUS シラバス)

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) について

今年度開講する授業の名称、担当教員の氏名、単位数、開講時期、授業の目的・内容、使用する教材、成績評価の方法、受講をする上での注意事項やアドバイスについて授業担当教員が記した授業の計画書です。

熟読をし、円滑に授業が受講できるよう心がけてください。

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) の項目について

| | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----|--------|------|-----|------|-----|
| 授業科目名 | 授業科目の名称 | | | | | | |
| サブタイトル | 授業内容の副題 | | | | | | |
| 授業区分 | ※ 1 | 単位数 | 科目の単位数 | 開講時期 | ※ 2 | 出席要件 | ※ 3 |
| 担当教員 | 担当教員の氏名 | | | | | | |
| 質問受付の方法 | 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 | | | | | | |
| 到達目標と 学習の成果 | <u>到達目標</u> 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 | | | | | | |
| | <u>学習成果</u> 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 | | | | | | |
| ディプロマポリ シーとの関連 | 授業科目が、学位授与の方針（ディプロマポリシー）とどのように関連しているかが書かれています。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 授業科目の授業実施方法です。 | | | | | | |
| テキスト 教材 参考図書 | 授業で使用する教科書です。 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 教科書の他に使用的な参考書です。 | | | | | | |
| 評価の要点 | 授業科日の成績評価の方法や手順です。 | | | | | | |
| 評価方法と採点 基準 | 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 | | | | | | |
| 履修上の注意事 項や学習上の助 言など | 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。 | | | | | | |

※ 1 授業区分：聖徳教育、教養科目、専門教育科目、教職科目などが表記されます。

※ 2 開講時期：科目が開講される学期（春学期、秋学期、春学期または秋学期、通年）が表記されます。

※ 3 出席要件：学期末試験の受験資格要件（全授業回数の2/3以上出席 または 4/5以上出席）が表記されます。

※ 4 授業形態：講義、演習、実験、実習、実技などが表記されます。

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 | 予習・復習等 |
|-----------|------------------------------|--|---|
| 1回 | 毎回の授業タイトル（テーマ）と授業内容が書かれています。 | 授業回数ごとに、その授業を終えた学生が、どのような知識、能力、技能等を身につけることが期待されるかという内容について書かれています。 | 予習・復習等に必要な時間、及びそれに準じる程度の具体的な学習内容が書かれています。 |
| 2回 | | | |
| 3回 | | | |
| 4回 | | | |
| 5回 | | | |
| 6回 | | | |
| 7回 | | | |
| 8回 | | | |
| 9回 | | | |
| 10回 | | | |
| 11回 | | | |
| 12回 | | | |
| 13回 | | | |
| 14回 | | | |
| 15回 | | | |
| 試験 | 試験方法が書かれています。 | | |

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) の閲覧方法について

授業計画 (SYLLABUS シラバス) については WEB ポータルサイト「Active Academy」から閲覧します。詳細な閲覧方法は冊子『WEB 履修登録の手引』「シラバス閲覧」を参照してください。

聖徳大学短期大学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部は、1933年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学短期大学部は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学短期大学部は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 他者を思いやる協調性とともに、凛として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの価値を見いだし、自らの意思で一步を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学短期大学部では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
4. 個別学問領域を超えたアイディアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。
6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をも

って、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。

聖徳大学短期大学部では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

聖徳大学短期大学部では、学修成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイディアや学際的かつ多面的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

II 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学修成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 「到達目標」、「学修成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び他の授業科目との関連を明示しています。
3. 授業方法として能動的な学び（アクティブラーニング）を導入し、深い学びを促進しています。

4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

聖徳大学短期大学部は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学短期大学部はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学短期大学部ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

全学共通科目(A類)

- ① 短期大学部 全学共通科目(A類)の教育課程は別表1、2、3、4のとおりです。
- ② 全学共通科目(A類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

| 全学共通科目(A類) | | | | | |
|------------|------|--------------|------|------|----|
| 学科 | 聖徳教育 | 教養科目 と外国語 | 健康教育 | 情報活用 | 計 |
| 保育 | 6 | 6 | 2 | 1 | 15 |
| 総合文化 | 6 | 8 | 2 | 1 | 17 |

- ③ 全学共通科目(A類)の履修については、各学科・コース・ブランチの履修要項に記載の全学共通科目(A類)別表に基づき履修してください。

聖徳教育、教養科目、外国語科目

別表1

| 区分 | チ エ ッ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 卒業必修 | 履修年次 | | | | | 備考 |
|--|-----------------------|--|-------|----|------|------|---|---|----|----|--------------|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 春秋 | 春秋 | |
| 全 学 共 通 科 目 (A 類) | 聖 徳 教 育 | <input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座 | | 2 | ○ | | | ● | ● | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅰ | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅱ | | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I) | | 1 | ○ | ○ | | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II) | | 1 | ○ | | ○ | | | | |
| | 教 養 科 目 | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・抜け・伝える(芸術領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・抜け・伝える(文学領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・抜け・伝える(歴史領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域Ⅰ) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ) | 演 | 1 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | A 類 | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | B 類 | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | C 類 | <input type="checkbox"/> 日本国憲法 | | 2 | | | | ● | ● | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | | * | * | * | | |
| | | <input type="checkbox"/> 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | | * | * | * | | |
| | D 類 | <input type="checkbox"/> 英語Ⅰ～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 英語Ⅰ～2 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ～1 | 演 | 1 | | | | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ～2 | 演 | 1 | | | | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ～1 | 演 | 1 | | | | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ～2 | 演 | 1 | | | | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> 英語Ⅱ～1 | 演 | 1 | ★ | | | ○ | | | |
| | | <input type="checkbox"/> 英語Ⅱ～2 | 演 | 1 | ★ | | | | ○ | | |
| 計 | | | | 41 | | | | | | | |

*保育科第一部・第二部の学生で教員免許状を取得する者は、教養科目の日本国憲法は必修。

*小笠原流礼法基礎講座:在学中に小笠原流礼法基礎講座2単位が全学生に必修として開講されます。

*「社会貢献の理論と実践」については総合文化学科は1年次秋学期、保育科は2年次春学期に実施します。

*「地域貢献活動の実践」については総合文化学科は2年次春学期、保育科は2年次秋学期に実施します。

★総合文化学科の学生は必修。

健康教育科目

別表2

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 卒業必修 | 履修年次 | | | | | | 備考 | |
|--------------------------|----------|-------|----|------|------|---|---|---|---|---|----|--|
| | | | | | 1 | | 2 | | 3 | | | |
| | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育Ⅰ | ※ | 1 | | ○ | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育Ⅱ | ※ | 1 | | | ○ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | スポーツと健康Ⅰ | ※ | 1 | | ○ | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | スポーツと健康Ⅱ | ※ | 1 | | | ○ | | | | | | |
| 計 | | | 4 | | | | | | | | | |

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】保育科第一部、第二部は基礎専門体育Ⅰ・Ⅱ必修。

総合文化学科はスポーツと健康Ⅰ・Ⅱ必修。

情報活用科目

別表3

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 卒業必修 | 履修年次 | | | | | | 備考 | |
|--------------------------|------------|-------|----|------|------|---|---|---|---|---|----|--|
| | | | | | 1 | | 2 | | 3 | | | |
| | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(教職) | 演 | 1 | | | ○ | | | | | | |
| 計 | | | 2 | | | | | | | | | |

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。

2) 情報活用科目を2単位以上修得した場合、1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表4

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|--------------------------|-----------|-------|----|------|---|---|---|----|--|
| | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅰ～1 | 演 | 1 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅰ～2 | 演 | 1 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅱ～1 | 演 | 1 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅱ～2 | 演 | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅲ～1 | 演 | 1 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本語Ⅲ～2 | 演 | 1 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本の社会と歴史Ⅰ | | 2 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 日本の社会と歴史Ⅱ | | 2 | | | | | | |
| 計 | | | 10 | | | | | | |

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

(注)帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。

保育科 第一部・第二部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部保育科は、理論と技術を兼ね備え、実践力に優れた多くの保育者を社会に輩出してきました。現代社会においては、個人・社会の価値観の多様化が進み、子どもを取り巻く環境も大きく変化し、保育現場では、これまで以上に質の高い教育・保育と、地域の課題解決に積極的に取り組める人材が求められています。

保育科では、現代社会の問題・課題にも対応できるよう、社会人として、保育者として、礼節、豊かな人間性、高度な専門的知識・技能を身につけ、子どもの教育・保育に関わる専門家としての情熱や使命感をもった保育者「次代をつくる“保育のエキスパート”」を養成します。

【教育目標】

保育科は、上記の教育方針に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

1. 礼節と思いやりの心、豊かな人間性、保育者としての使命感や責任感を育成する。
2. 保育実践に必要な論理的思考力、判断力、表現力、他者と連携・協働する力等、理論と実践力を育成する。
3. 子育ての支援を通じて、地域に貢献できる力を育成する。

【学修成果】

保育科では、上記の教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

1. 他者を尊重し、保育に関わる人たちと良好な人間関係を構築することができる。
2. 保育者の職務内容を理解し、使命感、責任感をもって保育に取り組むことができる。
3. 子どもの遊びや生活、発達について理解し、さらに、保育者に求められる表現・技能等を修得して、一人ひとりの子どもに適切な援助をすることができる。
4. 子どもの発達や実態を踏まえて指導案を作成、実践し、その振り返りと改善ができる。
5. 他者と協働して地域の保育課題に取り組み、提案、発信ができる。

保育科では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士（保育）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

保育科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 子どもを理解する力を育成する科目群を設定し、教育・保育・心理・福祉・保健等の学修を通じて、子どもを広く理解し、その成長発達について考察する力を育成する。

2. 表現技能を育成する科目群を設定し、感性を磨き、豊かに表現する力を高め、保育実践力を育成する。
3. 保育を創造する力を育成する科目群を設定し、保育の内容への理解を深め、指導力を育成する。
4. 保育現場で学ぶ科目群を設定し、実習指導や実習を通じて、子どもを真に理解しようととする姿勢と保育実践力、対人関係能力を育成する。
5. 地域で学ぶ科目群を設定し、フィールドワーク等を通じて、保育者として地域の保育課題に取り組む姿勢を育成する。

【教育課程実施の方針】

保育科では、学修成果を効果的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、学生が自らの長所を発見し伸長できる学修を展開しています。

1. 実習指導、地域で学ぶ科目等において自己評価を導入し、学生が自らの達成度を確認し、それを教員と共有し、以後の学修に活かすことにより、学修効果を高める。
2. 地域で学ぶ科目群においては、地域社会におけるフィールドワークを実施し、学生が主体的・体験的に学修することにより、実践的な学びを促進する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

保育科では、豊かな人間性を備えた保育者、理論と実践力を備えた保育者、地域に貢献できる保育者を養成することを教育目標として掲げ、教育目標の達成のために、充実した教育課程を編成しています。保育科の教育目標を理解し、カリキュラムの学習に積極的に臨む人を、受け入れます。

具体的には、次のような知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、明確な目標をもつ人を求めていきます。

1. 教育、保育、福祉に关心をもち、保育者になる意欲がある。
2. 子どもや子どもを取り巻く環境に关心をもち、自分の考えを述べることができる。
3. 文章を理解し、考え、それをまとめる力を身に附けている。
4. 身体表現、造形表現、音楽表現等の活動を積極的に楽しむことができる。
5. グループ学習、課外活動やボランティア活動等で、仲間と協働して学習ができる。

このような受験生を受け入れるために、多様な受験機会をもち、入学試験では、個別面接、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験などを組み合わせて総合的に評価します。

保育科第一部 幼稚園教員・保育士養成コース 履修要項

(1)保育科第一部幼稚園教員・保育士養成コースの卒業所用単位数は、次表のとおりです。

幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

| 取得免許・資格 | 全学共通科目(A類) | | | | | 専門教育科目(B類) | | | 計 (単位) |
|---------|------------|----------|------|------|----|------------|------|----|-----------|
| | 聖徳教育 | 教養科目と外国語 | 健康教育 | 情報活用 | 計 | 必修科目 | 選択科目 | 計 | |
| 幼稚園教諭二種 | 6 | 6 | 2 | 2 | 16 | 54 | — | 54 | 70 |
| 保育士 | 6 | 6 | 2 | 1 | 15 | 68 | — | 68 | 83 |
| 両方取得 | 6 | 6 | 2 | 2 | 16 | 86 | — | 86 | 102 |

(2)全学共通科目(A類)については、別表5-1のとおり履修すること。

(3)教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいること。

(教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許状を選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)

(4)保育科第一部幼稚園教員・保育士養成コースは、専門教育科目は、別表5-2の「幼稚園」欄の○の科目もしくは「保育士」欄の○の科目全てと、△▲印の科目が選択必修です。

(5)幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表5-2の「幼稚園」欄の○印の科目が必修です。

(6)保育士資格を取得しようとする者は、別表5-2の「保育士」欄の○印の科目が必修です。

(7)保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習II(保育所)及び保育実習指導指導II(保育所)」又は「保育実習III(施設)及び保育実習指導III(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。

(8)図書館司書、秘書士を取得しようとする者は、後掲の別表7「図書館学講座」、別表8の「秘書士課程」科目を修得すること。なお、「図書館学講座」、「秘書士課程」の科目は、上記の卒業所要単位数には含まれません。

(9)履修期に○印が付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。

(10)授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類)

別表5-1

| 区分 | チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|------|--------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|-----|------|------|---|---|---|-------------------|--|
| | | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| 聖徳教育 | <input type="checkbox"/> | 小笠原流礼法基礎講座 | | 2 | ○ | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育I | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育II | | 1 | ○ | ○ | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy I) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy II) | 演 | 1 | ○ | | ○ | | | | |
| 教養 | A類 | <input type="checkbox"/> | 自分を見つめ・抜け・伝える(芸術領域) | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自分を見つめ・抜け・伝える(文学領域) | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自分を見つめ・抜け・伝える(歴史領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域I) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域II・インターナシップ) | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | B類 | <input type="checkbox"/> | 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | C類 | <input type="checkbox"/> | 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | D類 | <input type="checkbox"/> | 日本国憲法 | 2 | ○ | | | | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 社会貢献の理論と実践 | 1 | ○ | | | ○ | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 地域貢献活動の実践 | 1 | ○ | | | | ○ | | |
| 外国語 | <input type="checkbox"/> | 英語I～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語I～2 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語II～1 | 演 | 1 | | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語II～2 | 演 | 1 | | | | ○ | | | |
| 健康教育 | <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育I | | ※ | 1 | ○ | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育II | | ※ | 1 | ○ | | ○ | | | |
| 情報活用 | <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(教職) | 演 | 1 | | | ○ | | | | |
| 計 | | | | | 15 | | | | | 幼稚園教諭二種免許取得希望者は必修 | |

保育科第一部 幼稚園教員・保育士養成コース 専門教育科目(B類)

別表5-2

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 幼稚園 | 保育士 | 両方 | 履修期 | | | | 備考 | |
|----------------------------|----------------------|-------|----|---------|---------|---------|-----|---------|---|---|---|--|
| | | | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| 専 門 教 育 科 目 | □ 音楽 I | 演 | 4 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | △印の科目のうち、1科目は必修。 (全て履修することが望ましい。) | |
| | □ 音楽 II～1 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 音楽 II～2 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 図画工作 I | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 図画工作 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 体育 I | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 体育 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 国語 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 生活 | | 2 | | | | | | | | | |
| | □ 児童文化 I～1 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 児童文化 I～2 | 演 | 1 | △ △ △ △ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 児童文化 II～1 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 児童文化 II～2 | 演 | 1 | △ △ △ △ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 児童文化 III～1 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 児童文化 III～2 | 演 | 1 | △ △ △ △ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 保育原理 I | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 教育原理 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ● ● ● ● | | | | | | | |
| | □ 子ども家庭福祉 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 社会福祉 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 子ども家庭支援論 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 社会的養護 I | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教職入門 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ● ● ● ● | | | | | | | |
| | □ 発達心理学 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 特別支援の基礎 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 子ども家庭支援の心理学 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 子どもの理解と援助 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 子どもの保健 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 子どもの食と栄養 | 演 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育制度論 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | | |
| | □ 教育方法論 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | | |
| | □ 幼児理解・保育相談 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育課程論 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育課程論 | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育内容総論 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育内容・健康 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | 健康が春の場合は環境は秋 人間関係が春の場合は言葉は秋 | |
| | □ 保育内容・人間関係 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | | |
| | □ 保育内容・環境 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | | |
| | □ 保育内容・言葉 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ● ● ● ● | | | | |
| | □ 保育内容・音楽表現 I | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育内容・音楽表現 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 保育内容・造形表現 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 乳児保育 I | | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | ○ | | | | | |
| | □ 乳児保育 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 子どもの健康と安全 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 障害児保育 | 演 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 社会的養護 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育相談 | | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | | |
| | □ 子育て支援 | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 教職実践演習(幼稚園) | 演 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 幼児教育実習指導(事前・事後指導) | 実 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 幼児教育実習 I(附属幼稚園実習) | 実 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 幼児教育実習 II(指定幼稚園実習) | 実 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習指導 I | 演 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習 I(保育所) | 実 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習 I(施設) | 実 | 2 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習指導 II(保育所) | 演 | 1 | △ △ △ △ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | 保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習 II(保育所)及び保育実習指導 II(保育所)」又は「保育実習 III(施設)及び保育実習指導 III(施設)」のいずれか2科目3単位を選択履修すること | |
| | □ 保育実習 II(保育所) | 実 | 2 | △ △ △ △ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習 III(施設) | 演 | 1 | ▲ ▲ ▲ ▲ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育実習 III(施設) | 実 | 2 | ▲ ▲ ▲ ▲ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 卒業研究 | 演 | 2 | | | | | | | | | |
| | □ キャリア総合演習 I | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ キャリア総合演習 II | 演 | 1 | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| | □ 保育表現法 I | 演 | 1 | | | | | | | | | |
| 単位計 | | | | 96 | 54 | 68 | 86 | | | | | |

保育科第二部 幼稚園教員・保育士養成コース 履修要項

(1) 保育科第二部幼稚園教員・保育士養成コースの卒業所用単位数は次表のとおりです。

幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

| 取得免許・資格 | 全学共通科目(A類) | | | | | 専門教育科目(B類) | | 計 (単位) |
|---------|------------|----------|------|------|----|------------|------|-----------|
| | 聖徳教育 | 教養科目と外国語 | 健康教育 | 情報活用 | 計 | 必修科目 | 選択科目 | |
| 幼稚園教諭二種 | 6 | 6 | 2 | 2 | 16 | 56 | — | 56 72 |
| 保育士 | 6 | 6 | 2 | 1 | 15 | 70 | — | 70 85 |
| 両方取得 | 6 | 6 | 2 | 2 | 16 | 88 | — | 88 104 |

(2) 全学共通科目(A類)については、別表6-1のとおり履修すること。

(3) 教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいます。

(教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許状選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)

(4) 保育科第一部幼稚園教員・保育士養成コースは、専門教育科目は、別表6-2の「幼稚園」欄の○の科目もしくは「保育士」欄の○の科目全てと、△▲印の科目が選択必修です。

(5) 幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表6-2の「幼稚園」欄の○印の科目が必修です。

(6) 保育士資格を取得しようとする者は、別表5-2の「保育士」欄の○印の科目が必修です。

(7) 保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導指導Ⅱ(保育所)」又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。

(8) 図書館司書、秘書士を取得しようとする者は、後掲の別表7「図書館学講座」、別表8の「秘書士課程」科目を修得すること。なお、「図書館学講座」、「秘書士課程」の科目は、上記の卒業所要単位数には含まれません。

(9) 履修期に○印を付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。

(10) 授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類)

別表6-1

| 区分 | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | | 備考 |
|------|--------------------------|-------------------------------------|-------|-----|------|------|---|---|------------------|
| | | | | | | 1 | | 2 | |
| | | | | | | 春 | 秋 | 春 | |
| 聖徳教育 | <input type="checkbox"/> | 小笠原流礼法基礎講座 | | 2 | ○ | | | | ○ |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育Ⅰ | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育Ⅱ | | 1 | ○ | ○ | | | ○ |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II) | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| 教養 | <input type="checkbox"/> | 日本国憲法 | | 2 | ○ | | | | ○ |
| | <input type="checkbox"/> | 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> | 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| 外国語 | <input type="checkbox"/> | 英語Ⅰ～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語Ⅰ～2 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語Ⅱ～1 | 演 | 1 | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> | 英語Ⅱ～2 | 演 | 1 | | | | ○ | |
| 健康教育 | <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育Ⅰ | ※ | 1 | ○ | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 基礎専門体育Ⅱ | ※ | 1 | ○ | | ○ | | |
| 情報活用 | <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 情報活用演習(教職) | 演 | 1 | | | ○ | | 幼稚園教諭二種免取得希望者は必修 |
| 計 | | | | 15 | | | | | |

保育科第二部 幼稚園教員・保育士養成コース 専門教育科目(B類)

別表6-2

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | 幼稚園教諭 | 保育士 | 両方 | 履修期 | | | | 備考 |
|--|------|-------|----|-------|-----|----|-----|----|----|---|------------------------|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | | |
| | | | | | | | 春秋 | 春秋 | 春秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 音楽I | 演 | 6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| <input type="checkbox"/> 音楽II～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 音楽II～2 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図画工作I | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図画工作II | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 体育I | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 体育II | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 国語 | | 2 | ○ | | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 生活 | | 2 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童文化I | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童文化II | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童文化III～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童文化III～2 | 演 | 1 | | | | | | | ○ | | 児童文化III～2は履修することが望ましい。 |
| <input type="checkbox"/> 保育原理I | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 教育原理 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 子ども家庭福祉 | | 2 | | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 社会福祉 | | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 子ども家庭支援論 | | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 社会的養護I | | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 教職入門 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 発達心理学 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 特別支援の基礎 | | 2 | ○ | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学 | | 2 | | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助 | 演 | 1 | | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 子どもの保健 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養 | 演 | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 教育制度論 | | 2 | ○ | | ○ | | | | | ○ | |
| <input type="checkbox"/> 教育方法論 | | 2 | ○ | | ○ | | | | | ○ | |
| <input type="checkbox"/> 幼児理解・保育相談 | | 2 | ○ | | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 教育課程論 | | 2 | ○ | | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 保育課程論 | | 2 | | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容総論 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・健康 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・人間関係 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・環境 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・言葉 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・音楽表現I | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・音楽表現II | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育内容・造形表現 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 乳児保育I | | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 乳児保育II | 演 | 1 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 子どもの健康と安全 | 演 | 1 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 障害児保育 | 演 | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 社会的養護II | 演 | 1 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 教育相談 | | 1 | ○ | | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 子育て支援 | 演 | 1 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 教職実践演習(幼稚園) | 演 | 2 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> グループ研究 | 演 | 2 | ○ | ○ | ○ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> 幼児教育実習指導(事前・事後指導) | 実 | 1 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 幼児教育実習I(附属幼稚園実習) | 実 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 幼児教育実習II(指定幼稚園実習) | 実 | 2 | ○ | | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習指導I | 演 | 2 | | ○ | ○ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習I(保育所) | 実 | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習I(施設) | 実 | 2 | | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習指導II(保育所) | 演 | 1 | | △ | △ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習II(保育所) | 実 | 2 | | △ | △ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習指導III(施設) | 演 | 1 | | ▲ | ▲ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> 保育実習III(施設) | 実 | 2 | | ▲ | ▲ | | | | ○○ | | |
| <input type="checkbox"/> キャリア総合演習 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 単位計 | | | 94 | 56 | 70 | 88 | | | | | |

保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習II(保育所)及び保育実習指導II(保育所)」又は「保育実習III(施設)及び保育実習指導III(施設)」のいずれか2科目3単位を選択履修すること

次代をつくる“保育のエキスパート”

| 2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第一部 子どもの扉を開こう | | 実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|------------------|---------------|-----------|--|---|-----------------------------|------------------------------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-----------|---------|---------------|---------------|-------|------------|---------|---------------|--|-------|-----------|-------------|----------|--------|-------|---------|-------|---------|--------|--------|------|------|-----------|-----------|----------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-------|-------|-------|--|
| 保育者への扉を開こう | | 自分の力をためしてみよう | 感性豊かな保育者に | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>保育現場で学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園実習指導 見学実習指導 | | <p>地域で学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児教育実習指導 幼稚園実習 保育実習（施設） 保育実習（保育所） 保育実習指導 （選択）保育実習Ⅱ（施設） （選択）保育実習Ⅱ（保育所） （選択）保育実習Ⅱ（幼稚園） （選択）保育実習Ⅱ（幼稚園実習指導） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>表現技能を身につける</p> | | <p>キャリア総合演習Ⅱ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>社会貢献の理論と実践</th> <th>地域貢献活動の実践</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保育内容総論 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 教職実践演習（幼稚園） 保育内容・健康（看學期または別学期） 保育内容・人間関係（看學期または別学期） 保育内容・言葉（看學期または別学期） 保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ </td></tr> </tbody> </table> | | 社会貢献の理論と実践 | 地域貢献活動の実践 | <ul style="list-style-type: none"> 保育内容総論 | <ul style="list-style-type: none"> 教職実践演習（幼稚園） 保育内容・健康（看學期または別学期） 保育内容・人間関係（看學期または別学期） 保育内容・言葉（看學期または別学期） 保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会貢献の理論と実践 | 地域貢献活動の実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 保育内容総論 | <ul style="list-style-type: none"> 教職実践演習（幼稚園） 保育内容・健康（看學期または別学期） 保育内容・人間関係（看學期または別学期） 保育内容・言葉（看學期または別学期） 保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>子どもを理解する</p> | | <p>音楽Ⅰ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音楽Ⅰ</th> <th>音楽Ⅱ～1</th> <th>音楽Ⅱ～2</th> <th>音楽Ⅰ</th> <th>音楽Ⅰ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽Ⅱ～1</td><td>音楽Ⅱ～1</td><td>音楽Ⅱ～2</td><td>体育Ⅰ</td><td>体育Ⅱ</td></tr> <tr> <td>児童文化Ⅰ～1</td><td>児童文化Ⅰ～1</td><td>児童文化Ⅱ～1</td><td>（選択必修）児童文化Ⅰ～2</td><td>（選択必修）児童文化Ⅱ～2</td></tr> <tr> <td>図画工作Ⅰ</td><td>図画工作Ⅱ</td><td>児童文化Ⅲ～1</td><td>（選択必修）児童文化Ⅲ～2</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>乳児保育Ⅰ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発達心理学</th> <th>子どもの理解と援助</th> <th>子ども家庭支援の心理学</th> <th>子どもの食と栄養</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの保健</td><td>障害児保育</td><td>特別支援の基礎</td><td>子育て支援</td></tr> <tr> <td>子ども家庭福祉</td><td>社会的養護Ⅰ</td><td>社会的養護Ⅱ</td><td>社会福祉</td></tr> <tr> <td>教育相談</td><td>子どもの健康と安全</td><td>幼児理解・保育相談</td><td>子ども家庭支援論</td></tr> <tr> <td>教育原理（看學期または別学期）</td><td>教職入門（看學期または別学期）</td><td>教育制度論（看學期または別学期）</td><td>教育方法論（看學期または別学期）</td></tr> <tr> <td>保育原理Ⅰ</td><td>保育課程論</td><td>教育課程論</td><td></td></tr> </tbody> </table> | | 音楽Ⅰ | 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～2 | 音楽Ⅰ | 音楽Ⅰ | 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～2 | 体育Ⅰ | 体育Ⅱ | 児童文化Ⅰ～1 | 児童文化Ⅰ～1 | 児童文化Ⅱ～1 | （選択必修）児童文化Ⅰ～2 | （選択必修）児童文化Ⅱ～2 | 図画工作Ⅰ | 図画工作Ⅱ | 児童文化Ⅲ～1 | （選択必修）児童文化Ⅲ～2 | | 発達心理学 | 子どもの理解と援助 | 子ども家庭支援の心理学 | 子どもの食と栄養 | 子どもの保健 | 障害児保育 | 特別支援の基礎 | 子育て支援 | 子ども家庭福祉 | 社会的養護Ⅰ | 社会的養護Ⅱ | 社会福祉 | 教育相談 | 子どもの健康と安全 | 幼児理解・保育相談 | 子ども家庭支援論 | 教育原理（看學期または別学期） | 教職入門（看學期または別学期） | 教育制度論（看學期または別学期） | 教育方法論（看學期または別学期） | 保育原理Ⅰ | 保育課程論 | 教育課程論 | |
| 音楽Ⅰ | 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～2 | 音楽Ⅰ | 音楽Ⅰ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～1 | 音楽Ⅱ～2 | 体育Ⅰ | 体育Ⅱ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童文化Ⅰ～1 | 児童文化Ⅰ～1 | 児童文化Ⅱ～1 | （選択必修）児童文化Ⅰ～2 | （選択必修）児童文化Ⅱ～2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 図画工作Ⅰ | 図画工作Ⅱ | 児童文化Ⅲ～1 | （選択必修）児童文化Ⅲ～2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発達心理学 | 子どもの理解と援助 | 子ども家庭支援の心理学 | 子どもの食と栄養 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子どもの保健 | 障害児保育 | 特別支援の基礎 | 子育て支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子ども家庭福祉 | 社会的養護Ⅰ | 社会的養護Ⅱ | 社会福祉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育相談 | 子どもの健康と安全 | 幼児理解・保育相談 | 子ども家庭支援論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育原理（看學期または別学期） | 教職入門（看學期または別学期） | 教育制度論（看學期または別学期） | 教育方法論（看學期または別学期） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保育原理Ⅰ | 保育課程論 | 教育課程論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学びの基礎を身につける</p> | | <p>基礎専門体育Ⅰ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎専門体育Ⅰ</th> <th>基礎専門体育Ⅱ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情勢活用対応（基礎）</td><td>情勢活用対応（実績）</td></tr> <tr> <td>SEITOKU Academic Literacy I</td><td>SEITOKU Academic Literacy II</td></tr> <tr> <td>キャリア総合演習Ⅰ</td><td></td></tr> <tr> <td>国語</td><td></td></tr> </tbody> </table> | | 基礎専門体育Ⅰ | 基礎専門体育Ⅱ | 情勢活用対応（基礎） | 情勢活用対応（実績） | SEITOKU Academic Literacy I | SEITOKU Academic Literacy II | キャリア総合演習Ⅰ | | 国語 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基礎専門体育Ⅰ | 基礎専門体育Ⅱ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情勢活用対応（基礎） | 情勢活用対応（実績） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SEITOKU Academic Literacy I | SEITOKU Academic Literacy II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キャリア総合演習Ⅰ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国語 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>人間性を高める</p> | | <p>聖徳教育Ⅰ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>聖徳教育Ⅰ</th> <th>聖徳教育Ⅱ</th> <th>聖徳教育Ⅲ</th> <th>聖徳教育Ⅳ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聖徳教育Ⅰ</td><td>聖徳教育Ⅱ</td><td>聖徳教育Ⅲ</td><td>聖徳教育Ⅳ</td></tr> <tr> <td>英語Ⅰ～1</td><td>英語Ⅱ～1</td><td>（選択）英語Ⅱ～2</td><td>（選択）英語Ⅲ～2</td></tr> <tr> <td>英語Ⅰ～2</td><td>英語Ⅱ～2</td><td>英語Ⅲ～2</td><td>英語Ⅳ～2</td></tr> <tr> <td>小笠原流礼法基礎講座</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> | | 聖徳教育Ⅰ | 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅲ | 聖徳教育Ⅳ | 聖徳教育Ⅰ | 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅲ | 聖徳教育Ⅳ | 英語Ⅰ～1 | 英語Ⅱ～1 | （選択）英語Ⅱ～2 | （選択）英語Ⅲ～2 | 英語Ⅰ～2 | 英語Ⅱ～2 | 英語Ⅲ～2 | 英語Ⅳ～2 | 小笠原流礼法基礎講座 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 聖徳教育Ⅰ | 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅲ | 聖徳教育Ⅳ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 聖徳教育Ⅰ | 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅲ | 聖徳教育Ⅳ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 英語Ⅰ～1 | 英語Ⅱ～1 | （選択）英語Ⅱ～2 | （選択）英語Ⅲ～2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 英語Ⅰ～2 | 英語Ⅱ～2 | 英語Ⅲ～2 | 英語Ⅳ～2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小笠原流礼法基礎講座 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1 年次春学期</p> | | <p>1 年次秋学期</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>保育職への意欲を向上させる 勉強への姿勢を確立する</p> | | <p>保育実践を理解する 基礎的な保育実践力を修得する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2 年次春学期</p> | | <p>2 年次秋学期</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>保育者として必要なる 資質・能力を修得する</p> | | <p>2 年次春学期</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

次代をつくる“保育のエキスパート”，

| 保育現場で 学ぶ | | 子どもとの世界に ふみこもう | | 自分の力を ためしひよう | | 感性豊かな保育者に | |
|---|--|---|---|---|---|---|---|
| 幼児教育実習Ⅰ 幼稚園児言葉表現の成果を踏まえつつ、幼稚園の特性、教師の援助、幼稚園の生活等について理解する。指導の実際を体験することができる。 | 幼児教育実習Ⅱ 幼稚園児言葉表現の成果を踏まえつつ、幼稚園の生活等について理解する。指導の役割を通じて、意欲的に学ぶことができる。 | 保育実習Ⅰ(施設) これまでの実習の成果を踏まえつつ、施設における利用児(者)との関わり方を深め、保育所の生徒に対する支援責任を負う保育士の職務について理解する。施設における保育士の職務について理解することができる。 | 保育実習Ⅱ(施設) これまでの実習の成果を踏まえつつ、施設における利用児(者)との関わり方を深め、保育所の生徒に対する支援責任を負う保育士の職務について理解する。施設における保育士の職務について理解することができる。 | 幼児教育実習Ⅲ これまでの実習の成果を踏まえつつ、部分実習や幼稚園実習などを通じて、幼稚園の実習機能について理解する。保育所の職務について理解することができる。 | 保育実習Ⅳ(施設) これまでの実習の成果を踏まえつつ、施設における利用児(者)との関わり方を深め、保育所の生徒に対する支援責任を負う保育士の職務について理解する。施設における保育士の職務について理解することができる。 | 幼児教育実習Ⅴ これまでの実習の成果を踏まえつつ、施設における利用児(者)との関わり方を深め、保育所の生徒に対する支援責任を負う保育士の職務について理解する。施設における保育士の職務について理解することができる。 | 幼児教育実習Ⅵ これまでの実習の成果を踏まえつつ、施設における利用児(者)との関わり方を深め、保育所の生徒に対する支援責任を負う保育士の職務について理解する。施設における保育士の職務について理解することができる。 |
| 地域で学ぶ | 表現技能を 身につける | 表現技能に関する基礎的な知識・技能を身につけて生かすことができる。 | 表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 |
| 保育を 創造する | 子どもの 理解する | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 | 子どもの表現技能を表現する意欲を持つことによって生かすことができる。 |
| 子どもの 基礎を 身につける | 子どもの 基礎を 理解する | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 | 子どもの基礎を身につけて身についた知識を活用しながら、実習を通して子供たち一人ひとりの実態を的確に見て、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 |
| 人間性を 高める | ループリック | ループリック | ループリック | ループリック | ループリック | ループリック | ループリック |
| 1年次春学期 保育職への意欲を向上させる 勉学への姿勢を確立する | 2年次春学期 保育実践を理解する | 1年次秋学期 保育実践力を修得する | 2年次秋学期 基礎的な保育実践力を修得する | 1年次春学期 保育職として必要な資質・能力を修得する | 2年次春学期 基礎的な保育実践力を修得する | 1年次秋学期 保育職として必要な資質・能力を修得する | 2年次秋学期 基礎的な保育実践力を修得する |

次代をつくる“保育のエキスパート”

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第二部 実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ

保育者への扉を開こう
子どもの世界にふみこもう

感性豊かな保育者に

保育現場で学ぶ

附属幼稚園見学実習
見学実習指導

幼児教育実習実習
（附属幼稚園）

保育実習Ⅰ（保育所）
保育実習Ⅱ（施設）

【選択】
保育実習Ⅲ（保育所）
保育実習Ⅲ（施設）

保育実習指導

保育実習指導

保育実習指導

表現技能を身につける
地域で学ぶ

社会貢献活動の実践

グループ研究

グループ研究

子どもを理解する
表現技能を身につける

音楽Ⅰ
音楽Ⅱ～1
音楽Ⅱ～2
図画工作Ⅰ
児童文化Ⅰ

音楽Ⅰ
音楽Ⅱ
体育Ⅰ
図画工作Ⅱ
児童文化Ⅲ～1

音楽Ⅰ
音楽Ⅱ
図画工作Ⅲ～2

保育内容・人間関係
保育内容・言葉
保育内容・音楽表現Ⅰ

保育内容・健康新聞
保育内容・環境
保育内容・音楽表現Ⅱ

子どもを理解する
表現技能を身につける
学びの基礎を身につける

乳児保育Ⅰ
子ども家庭支援論
社会的養護Ⅰ
特別支援の基礎
教育課程論

乳児保育Ⅱ
子ども家庭支援論
社会的養護Ⅱ
特別支援の基礎
教育制度論

人間性を高める
聖徳教育Ⅰ
聖徳教育Ⅱ
英語Ⅰ～1

聖徳教育Ⅰ
聖徳教育Ⅱ
英語Ⅱ～2

3年次秋学期

3年次秋学期

保育者として必要な資質・能力を修得する

保育者への意欲を向上させる
勉学への姿勢を確立する

保育者への扉を開こう

子どもの世界に

自分の力を

感性豊かな保育者に

保育現場で 学ぶ

幼稚教育実習Ⅰ
附属幼稚園児の特性、教師の選択、幼稚園の生活等について理解するなども、保育活動の一部を担当し、指導の実際を体験することを通して、意欲的に学ぶことができる。

次代をつくる“保育のエキスパート”

| 科目 | 内容 | 達成目標 | 評価基準 | 評価方法 | 評価基準 | 評価方法 | 評価基準 | 評価方法 | 評価基準 | 評価方法 | 評価基準 | 評価方法 | 評価基準 | 評価方法 |
|----------------|---|---|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 保育現場で 学ぶ | 幼稚教育実習Ⅰ 附属幼稚園児の特性、教師の選択、幼稚園の生活等について理解するなども、保育活動の一部を担当し、指導の実際を体験することを通して、意欲的に学ぶことができる。 | これまでの実習結果を踏まえつつ、幼児の特徴、教師の選択、幼稚園の生活等について理解するなども、保育活動の一部を担当し、指導の実際を体験することを通して、意欲的に学ぶことができる。 | これまでの実習の成果を踏まえつつ、幼稚園児の特性、教師の選択、幼稚園の生活等について理解するなども、保育活動の一部を担当し、指導の実際を体験することを通して、意欲的に学ぶことができる。 | GPA |
| 地域で学ぶ | 保育内容を創造することへの関心・意欲を持つこと 表現技能に関する基礎的な知識・技能を身につけて生かすことができる。 | 保育内容を創造するために、子ども一人ひとりに適切な援助方法を身につけ、実習を通して認めることができる。 | 表現技能に関する基礎的な知識・技能を実習を通して身につけた知識を活用しながら、実習を通して子どもを広く理解することができる。 | GPA |
| 表現技能を 身につける | 表現技能に関する基礎的な知識・技能を身につけて生かすことができる。 子どもを理解するため必要な知識を身につけて身につけたICT活用能力の基礎を身につけていく。 | 表現技能に関する基礎的な知識・技能を表現技能に関する知識・技能を実習を通して深めることによって、子どもを広く理解することができる。 | 表現技能を身につけて身につけた身体表現を実習で生かし、深めることによって、子どもを広く理解することができる。 | GPA |
| 子どもを 理解する | 建学の精神「和」を理解FCで成果を踏まえつつ、他者に対して礼節をもって行動すること、規則正しい団体生活ができる。他者に対する思いやりの自分を見据え、自己制御心を養い、卒業時の自己生活とし、志賀高原での集団生活を充実した。保育科生として、志賀高原の自然に触れることを通じて、自然との間の関わりについての学び合い仲間とのコミュニケーション自分を知り、FCの成果を踏まえつつ、他者を知る)を通じて、クモロブの感、信頼関係を構築することができる。 | 建学の精神「和」を理解FCで成果を踏まえつつ、他者に対して礼節をもって行動すること、規則正しい団体生活ができる。他者に対する思いやりの自分を見据え、自己制御心を養い、卒業時の自己生活とし、志賀高原での集団生活を充実した。保育科生として、志賀高原の自然に触れることを通じて、自然との間の関わりについての学び合い仲間とのコミュニケーション自分を知り、FCの成果を踏まえつつ、他者を知る)を通じて、クモロブの感、信頼関係を構築することができる。 | 建学の精神「和」を理解FCで成果を踏まえつつ、他者に対して礼節をもって行動すること、規則正しい団体生活ができる。他者に対する思いやりの自分を見据え、自己制御心を養い、卒業時の自己生活とし、志賀高原での集団生活を充実した。保育科生として、志賀高原の自然に触れることを通じて、自然との間の関わりについての学び合い仲間とのコミュニケーション自分を知り、FCの成果を踏まえつつ、他者を知る)を通じて、クモロブの感、信頼関係を構築することができる。 | ループック |
| 人間性を 高める | 保育職への意欲を向上させる 保育実践を理解する | 保育職への意欲を確立する 保育職として必要な資質・能力を修得する | 基礎的な保育実践力を修得する | 2年次春学期 | 2年次秋学期 | 3年次春学期 | 3年次秋学期 | 3年次春学期 | 3年次秋学期 | 3年次春学期 | 3年次秋学期 | 3年次春学期 | 3年次秋学期 | 3年次春学期 |

図書館学講座(保育科第一部)

別表7

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 司 書 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|------------------------------------|------|-------|-----|--------|------|---|---|---|--|--|
| | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 生涯学習概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報処理技術概論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論 | | | 2 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館サービス概論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童サービス論 | | | 2 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス演習Ⅰ | 演 | | 1 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス演習Ⅱ | 演 | | 1 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織演習Ⅰ | 演 | | 1 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織演習Ⅱ | 演 | | 1 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館基礎特論 | | | 2 | △ | | | | | △印を付された科目について、短期大学部向けに開講されるのは情報資源特論と図書館文化史のみである。その他の科目の履修を希望する場合は、4年生大学向けに開講された科目を担当教員の許可を得て履修すること | |
| <input type="checkbox"/> 図書館サービス特論 | | | 2 | △ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源特論 | | | 2 | △ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館文化史 | | | 2 | △ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館施設論 | | | 2 | △ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館総合演習 | | | 1 | △ | | | | | | |

[注] 1.図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印が付された科目全部と、△印が付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。

2.上記の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

秘書士課程(保育科第一部)

別表8

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 秘 書 士 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|--|------|-------|-----|-------------|------|---|---|---|----|--|
| | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> データ整理の方法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 暮らしと経済 | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 簿記Ⅰ | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーションⅠ | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーションⅡ | 演 | 1 | ○ | | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書学概論Ⅰ | | 2 | ○ | ○ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書学概論Ⅱ | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書実務演習Ⅰ | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書実務演習Ⅱ | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |

[注] 1.秘書士を取得する者は、上記の科目が必修となります。

2.情報活用演習(基礎)、社会貢献の理論と実践、地域貢献活動の実践は卒業必修科目です。

それ以外の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

総合文化学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部総合文化学科は、「専門的知識と技能とを身につけ、広い視野を持って社会に自立できる女性の育成」を教育理念とし、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦し、時代に求められる自立した女性を輩出してきました。

政治・経済・文化のグローバル化、社会の価値観の多様化が急速に進む現代社会は、多くの多面的・複合的な問題に直面しています。そうした中で求められているのは、自ら課題を設定して解決策を示し、多様な他者と協働して新たな価値を創出できる人材を育成することです。

総合文化学科は、フードマネジメント、図書館司書・IT、国際観光・ホテル、ファッション・造形デザインの四つのコースを設け、自己の生き方を考える力や課題解決力をもち、地域社会を漸進的に変えていく実践的な力を有する女性を育成し、調和ある社会の発展に貢献していきます。

【教育目標】

総合文化学科は、教育理念に基づいて以下の四つの教育目標を掲げます。

1. 他者を思いやる協調性と豊かな感性、確かな礼節を身につけた“和”的心を育成する。
2. 幅広い教養に基づく多様な視点から現代社会における課題に自らアプローチし、解決する方策を論理的に模索できる思考力と解決力を育成する。
3. 自己の生き方を主体的にデザインすることができる自立した女性を育成する。
4. 幅広い専門性と学際性を併せもつ体系的な知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて現代社会及び地域社会の課題を解決へと導く高度な実践力を育成する。

【学修成果】

総合文化学科は、教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

1. 思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
2. 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
3. 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。
4. 専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。

以上の学修成果を達成するために編成された各専門分野別の教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、短期大学士（フード・健康教育、教養・情報、生活デザイン、ファッション・デザイン）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

総合文化学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら実践力を育む学科共通科目、高度な専門性を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

学科共通科目と専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学科共通科目

(1) キャリアデザイン力やビジネス社会で活躍できる力を身につける科目群

「キャリアスタディ I・II」を通じて日本語活用能力及び数的処理能力を培い、就業への基礎学力を身に付けます。また、簿記等の専門基礎科目（ビジネス）により生涯にわたってビジネス社会等で活躍するための基礎的能力を育成します。

(2) 学際的な知識・技能や ICT の活用能力を身につける科目群

他コースの専門教育科目、複数コース間の共通科目の履修を通じて、専門分野を越えた学際的な知識・技能を育成します。また、専門基礎科目（情報技術）を通じて ICT を活用して問題を発見し解決できる能力を育成します。

(3) 他者と協働しながら地域社会の抱える問題の発見・解決に挑戦する科目群

「社会貢献の理論と実践」「地域貢献活動の実践」の科目で、地域社会へ向けた問題解決のための企画・提案や情報発信をグループで協力して行うことにより、企画・提案力、情報発信力、コミュニケーション力、他者と協働する力などを育成します。また、これらの力を身につけることで、社会で自立するためのコンピテンシー（仕事力）を育成します。

2. 専門教育科目

(4) 専門分野における知識・技能を身につける科目群

各コースの専門教育科目（必修・選択）を通じて、専門分野における知識・技能を体系的に学修し、理論と実践を結びつけて課題解決を主導できる力を育成します。各コースにおける専門教育科目編成の方針は次のとおりです。

<フードマネジメントコース>学位：短期大学士（フード・健康教育）

食品や食品衛生に関する知識、基礎調理技術、健康と栄養、世界の食文化、製菓・製パンに関する知識を学んだ上で、世界文化遺産「和食」や各種の調理技術、フランス菓子製作に関する科目を体系的に配置します。食を総合的にプロデュースでき、食品・製菓業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<図書館司書・ITコース>学位：短期大学士（教養・情報）

日本語による表現技法、日本の文化・文学に関する科目をベースとして配置し、図書館司書及び IT のいずれにも有用な日本語の表現技能と教養を育成します。また、図書館司書資格取得に必要な科目を体系的に配置し、図書に関する情報を分析・処理する知識と技能を身につけ、的確な情報発信を行う力のある人材を育成する教育課程を編成します。

さらに、ICTに関する知識や技能、情報の構成、大量のデータから情報を抽出する技能などを学ぶ科目を体系的に配置し、企業社会で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<国際観光・ホテルコース>学位：短期大学士（生活デザイン）

観光・ホテルに関する知識・技能、旅行業務について理解を図る科目、英語でコミュニケーションの取れる会話科目を体系的に配置し、国際的に活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<ファッション・造形デザインコース>学位：短期大学士（ファッション・デザイン）

ファッションの造形やコーディネート、アパレル設計等に関する知識と技能及び衣料管理士取得のための科目を体系的に配置し、ファッションデザイン業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

また、デザインに関する基礎的な表現技術、コンピューター上での表現技法などを学ぶ科目を体系的に配置し、平面・立体・空間をデザインする能力を育成する教育課程を編成します。

【教育課程実施の方針】

総合文化学科では、学修成果を効果的に達成するために、「授業計画（シラバス）」及び「教育課程」に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学修課程を展開しています。

1. 授業方法として、学生自らが作品制作・発表などを行う能動的学習手法（アクティブ・ラーニング）を幅広く導入し、深い学びを促進しています。
2. 地域貢献に関わる授業では、グループワーク、PBL（課題解決型授業）、サービスラーニングを実施するなど、多様な授業手法を導入し、学習効果をより高めています。
3. 一年次秋学期からでもコースの変更ができる柔軟な履修体制を展開しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合文化学科では、ディプロマ・ポリシーの【学修成果】で示した目的を理解し、達成できる資質をもった人として、次のような入学者を求めています。

1. 二年間の学修を継続するための基礎知識をそなえ、情報機器の基本的操作技能を学んでいる人。
2. 文章を読み解き表現する日本語運用力、数的処理を含む論理的思考力が認められる人。
3. ボランティア活動、サークル活動などの経験を通じて地域貢献への関心をもつ人。
4. クラブ活動等に主体的に参加し、他者と協働するコミュニケーション能力を備えた人。

総合文化学科ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意し入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要なコミュニケーション力、基礎的な学力、論理的な思考力、協調性、主体性などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に、かつ多面的に評価します。

総合文化学科 履修要項

1. 総合文化学科の卒業必要単位数は、全学共通科目(A類)17単位以上 + 専門教育科目(B類)47単位以上 = 計64単位以上です。
2. 全学共通科目は別表1～3の通り、「聖徳教育」、「教養科目」、「外国語科目」、「健康教育科目」及び「情報活用科目」の5つの分野から構成されています。学生は卒業の要件として、全学共通科目を、次表の通り17単位以上修得しなければなりません。実際の履修は、各コースとも別表9～12の上段のA類を履修することになります。

| 全学共通科目(A類) | | | | |
|------------|------------|--------|--------|----|
| 聖徳教育 | 教養科目と外国語科目 | 健康教育科目 | 情報活用科目 | 計 |
| 6 | 8 | 2 | 1 | 17 |

- (1) 教養科目と外国語科目 8 単位には、外国語 4 単位を含んでいます。
教養科目はP.8に記載の通り、「社会貢献の理論と実践」(1単位)及び「地域貢献活動の実践」(1単位)は必修です。
加えて、A類、B類、C類からいずれか1科目を選択し2単位以上を履修すること。
 - (2) 健康教育科目は、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」が必修です。
3. 専門教育科目は、別表9～12の通り4つのコースがあり、1つのコースにはコース別必修科目19単位と、学科共通科目11単位★が配当されています。
- ★学科共通科目11単位には、必修科目として「キャリアスタディⅠ・Ⅱ」4単位と「キャリア実践演習Ⅰ」の1単位、専門基礎科目(情報技術)計2単位(「データ整理の方法」1単位、「プレゼンテーションの技法」1単位)
「環境論」2単位が配当されています。また、専門基礎科目(ビジネス)(「簿記Ⅰ」2単位、「暮らしと経済」2単位)からは、必ずいずれか1科目(2単位)を選択して履修すること。
- 従って、専門教育科目は次表の通り47単位以上修得することになります。
(なお、上記2. の全学共通科目を、専門教育科目に算入することはできません。)

| 専門教育科目(B類) | | | | | | | 計 | |
|----------------|----------|------------------|------------------|-----|----------------|------|----|--|
| 学科共通科目(11単位以上) | | | | | コース別科目(36単位以上) | | | |
| キャリアスタディⅠ・Ⅱ | キャリア実践演習 | 専門基礎科目 (情報技術) | 専門基礎科目 (ビジネス) | 環境論 | コース別 必修科目 | 選択科目 | | |
| 4 | 1 | 2 | 2 | 2 | 19※ | 17 | 47 | |

※図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち34単位を必修、選択科目は2単位以上とする。

- (1) 選択科目については、全コースの科目及び資格の科目群を選択の対象とすることが可能です。
また、本学の4年制大学(心理・福祉学部、文学部)の指定された科目を充当することもできます。
- (2) コースを変更する場合は、入学当初および1年次の7月にコース変更届を提出してください。
ただしクラス等の移動は1年次秋学期からになります。

4. 資格の専門教育科目

総合文化学科において取得できる資格の科目は別表13～17です。なお、資格の取得には別途登録のための費用がかかります(別表21参照)。希望者は1年次7月に正式登録してください。

総合文化学科 フードマネジメントコース

別表9

| 分類 | 区分 | チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 |
|--|------------------|-------------------|--|-------|-----|------|------|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | |
| 全 学 共 通 科 目 （ A 類 ） | 聖 徳 教 養 | | 小笠原流礼法基礎講座 | 演 | 2 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 聖徳教育 I | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 聖徳教育 II | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy I) | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy II) | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| 全 学 共 通 科 目 （ B 類 ） | A 類 | | 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターナシップ) | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | B 類 | | 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | | 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | C 類 | | 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | | 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | 演 | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | D 類 | | 日本国憲法 | 演 | 2 | | ● | ● | |
| | | | 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | | ○ | |
| | 外 国 語 | | 英語 I～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 英語 I～2 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 英語 II～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 英語 II～2 | 演 | 1 | ○ | | ○ | |
| | 健康教育 | | スポーツと健康 I | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | スポーツと健康 II | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | 情報 | | 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | 「文書作成技法」を読み替え |
| | | | 計 | | 42 | | | | |

| 分類 | 区分 | チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 |
|--|---|-------------------|--------------------|-------|-----|------|------|---|-----------------------|
| | | | | | | | 1 | 2 | |
| 専 門 教 育 科 目 （ B 類 ） | キャリアスタディ | | キャリアスタディ I | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | | | キャリアスタディ II | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | 専門基礎 科目 (情報技術) | | キャリア実践演習 | 演 | 1 | ○ | ○ | | Academic Literacy III |
| | | | データ整理の方法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | プレゼンテーションの技法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | 専門基礎 科目 (ビジネス) | | 文書作成技法 | 演 | (1) | ○ | ○ | | 情報活用演習(基礎)に充当 |
| | | | webの表現技法 | 演 | 1 | ○ | | | |
| | | | 簿記 I | 演 | 2 | ※ | ○ | | |
| | | | 簿記 II | 演 | 2 | | ○ | | |
| | 環境 | | 暮らしと経済 | 演 | 2 | ※ | ○ | | |
| | | | 環境論 | 演 | 2 | ○ | | ● | 春学期または秋学期に開講 |
| 専 門 教 育 科 目 （ A 類 ） | 必 修 1 共 5 通 单 位 （ 必 修 科 目 群 ） | | 製菓・製パン入門 I | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 製菓・製パン入門 II | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 基礎調理実習 | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | 調理学 | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | | | 食品学 | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | 食品衛生学 | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | | | 食品流通論 | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | | 食文化概論 | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | | 健康と栄養 | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | フランス菓子基礎 I | 実 | 1 | | ○ | | |
| | | | フランス菓子基礎 II | 実 | 1 | | ○ | | |
| | | | フランス菓子基礎 III | 実 | 1 | | | ○ | |
| | | | フランス菓子基礎 IV | 実 | 1 | | | ○ | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | フランス菓子応用 I | 実 | 1 | | | ○ | |
| | | | フランス菓子応用 II | 実 | 1 | | | ○ | |
| | | | シュガークラフト I | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | シュガークラフト II | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | 卒業制作(シュガークラフト III) | 実 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | | 製菓フランス語 | 演 | 2 | | ○ | | |
| | | | 調理実習(和食) | 実 | 1 | ○ | | ○ | |
| | | | 調理実習(中華) | 実 | 1 | | | ○ | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | 調理実習(西洋) | 実 | 1 | | | ○ | |
| | | | 調理実習(集団調理) | 実 | 1 | ○ | | ○ | |
| | | | 食品加工実習 | 実 | 1 | | | ○ | |
| | | | 献立の組立て方 | 演 | 2 | | | ○ | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | フードスペシャリスト論 | 演 | 2 | | | ○ | |
| | | | フードコーディネート論 | 演 | 2 | | | ○ | |
| | | | 調味料演習 | 実 | 1 | | ○ | | |
| | | | 官能評価論、鑑別論 | 演 | 2 | | | ○ | |
| | 必 修 4 科 目 群 （ 必 修 科 目 群 ） | | 卒業研究 | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | | 計 | | 59 | | | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科フードマネジメントコース製菓科目群 履修モデル

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|---------------|--|---|---|---|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ~1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I ~2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ~1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II ~2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (共通卒業製菓修科科目群) | 製菓・製パン入門 I 製菓・製パン入門 II 基礎調理実習 調理学 食品学 健康と栄養 | 食品衛生学 シュガークラフト I シュガークラフト II | 食文化概論 卒業制作(シュガークラフトIII) | 食品流通論 | |
| 科目数 | 6 | 3 | 2 | 1 | 12 |
| 必修科目計 | 17 | 11 | 7 | 4 | 39 |
| 選択科目※ | 製菓フランス語 | フランス菓子基礎 I フランス菓子基礎 II フードスペシャリスト論 | フランス菓子基礎 III フランス菓子基礎 IV 調理実習(西洋) | フランス菓子応用 I フランス菓子応用 II 調理実習(集団調理) 食品加工実習 献立の組立て方 フードコーディネート論 | |
| 科目数 | 1 | 3 | 3 | 6 | 13 |
| 科目数計 | 18 | 14 | 10 | 10 | 52 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

総合文化学科フードマネジメントコースフード科目群 履修モデル(フードスペシャリスト受験資格)

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|--------------|--|---|--|--|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ~1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I ~2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ~1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II ~2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (共通、卒業必修科目群) | 製菓・製パン入門 I 製菓・製パン入門 II 基礎調理実習 調理学 食品学 健康と栄養 | 食品衛生学 調理実習(和食) | 食文化概論 卒業研究 | 食品流通論 調理実習(集団調理) 卒業研究 | |
| 科目数 | 6 | 2 | 2 | 3 | 13 |
| 必修科目計 | 17 | 10 | 7 | 6 | 40 |
| 選択科目※ | 調味料演習 | フードスペシャリスト論 フランス菓子基礎 I フランス菓子基礎 II | 調理実習(西洋) 官能評価論、鑑別論 フランス菓子基礎 III フランス菓子基礎 IV | 調理実習(中華) 食品加工実習 献立の組立て方 フードコーディネート論 フランス菓子応用 | |
| 科目数 | 1 | 3 | 4 | 5 | 13 |
| 科目数計 | 18 | 13 | 11 | 11 | 53 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

総合文化学科 図書館司書・ITコース

別表10

| 分類 | 区分 | 授業科目 | 卒業の方法 | 単位数 | 履修年次 | | 備考 |
|--------|----|---|-------|-----|------|-----------|---|
| | | | | | 1 | 2 | |
| | | | | | 春秋 | 春秋 | |
| 聖徳教育 | A類 | □ 小笠原流礼法基礎講座 | | 2 | ○ | ○ | |
| | | □ 聖徳教育 I | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 聖徳教育 II | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy I) | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy II) | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 全学共通科目 | 教養 | □ 自分を見つめ・抜け・伝える(芸術領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | □ 自分を見つめ・抜け・伝える(文学領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自分を見つめ・抜け・伝える(歴史領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域 I) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自分を見つめ・抜け・伝える(文化領域 II・インターンシップ) | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | A類 | □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 心からだの美的本質を追求する(心の領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| A類 | C類 | □ 心からだの美的本質を追求する(からだの領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | 心からだの美的本質を追求する(スポーツ領域) |
| | | □ 心からだの美的本質を追求する(からだの領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 心からだの美的本質を追求する(栄養領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 心からだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 日本国憲法 | | 2 | | ● ● | |
| | D類 | □ 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 社会貢献活動の実践 |
| | | □ 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 英語 I ~ 1 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 外国語 | B類 | □ 英語 I ~ 2 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 英語 II ~ 1 |
| | | □ 英語 II ~ 1 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 英語 II ~ 2 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ スポーツと健康 I | ※ | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 健康教育 | C類 | □ スポーツと健康 II | ※ | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 情報 |
| | | □ 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 計 | | | | 42 | | | 「文書作成技法」を読み替え |

| 分類 | 区分 | 授業科目 | 卒業の方法 | 単位数 | 履修年次 | | 備考 |
|-----------------|-----------------|----------------------|-------|-----|------|-----------|--|
| | | | | | 1 | 2 | |
| | | | | | 春秋 | 春秋 | |
| 専門基礎科目群(必修17単位) | キャリア | □ キャリアスタディ I | | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ キャリアスタディ II | | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | 専門基礎科目(情報技術) | □ キャリア実践演習 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | Academic Literacy III |
| | | □ データ整理の方法 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ プレゼンテーションの技法 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 文書作成技法 | 演 | (1) | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 情報活用演習(基礎)に充当 |
| | | □ webの表現技法 | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 筆記 I | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 筆記 II | | 2 | | ○ ○ ○ ○ ○ | 卒業必修欄に※が付された科目のいずれかを履修すること |
| | | □ 営利・経済 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 専門教育科目群(必修17単位) | 図書館司書 | □ 環境論 | | 2 | ○ | ● ● | 春学期または秋学期に開講 |
| | | □ 卒業研究 | 演 | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | 図書館司書 | □ 日本の文学 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | 3科目6単位以上を卒業必修とする |
| | | □ 日本の文化 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 日本語表現基礎 I | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 日本語表現基礎 II | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ メディアリテラシー | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 生涯学習概論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 図書館概論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 図書館制度・経営論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 図書館文化史 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 図書館サービス概論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 専門教育科目群(必修17単位) | 専門教育科目群(必修17単位) | □ 情報資源概論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | 各群からそれぞれ2科目11単位以上を卒業必修とし、図書館司書課程を履修する者は全科目26単位を必修とする |
| | | □ 情報資源組織論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報資源組織演習 I | | 1 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報資源組織演習 II | | 1 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報資源特論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報サービス論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 児童サービス論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報サービス演習 I | | 1 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報サービス演習 II | | 1 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報処理技術概論 | | 2 | ※ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 専門教育科目群(必修17単位) | プログラミング | □ 情報処理論 | | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報倫理論 | | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ プログラミング基礎 | | 2 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 日本語プレゼンテーション I | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 日本語プレゼンテーション II | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ CG(ペイント系)演習 | | 1 | | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ CG(イラスト・ドロー系)演習 | | 1 | | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 編集技法(DTP) I | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 編集技法(DTP) II | 演 | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ CG(動画)演習 | | 1 | | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| 専門教育科目群(必修17単位) | データ分析 | □ データ分析の方法 | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ データベース演習 I | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ データベース演習 II | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ プログラムの書き方 I | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ プログラムの書き方 II | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ Webアプリケーションの作り方 I | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ Webアプリケーションの作り方 II | | 1 | ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報システムの考え方 | | 2 | | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 情報コミュニケーション技術 | | 2 | | ○ ○ ○ ○ ○ | |
| | | □ 計 | | 78 | | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科図書館司書・ITコース図書館司書科目群 履修モデル(図書館司書資格取得)

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|--------------------|--|---|---|---|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ~1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I ~2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ~1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II ~2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (共通、卒業必修科目)図書館司書科目 | 生涯学習概論 図書館概論 情報資源概論 日本の文学 日本語表現基礎 I | 情報資源組織論 情報資源特論 図書館サービス概論 情報サービス論 情報処理技術概論 日本語表現基礎 II | 情報資源組織演習 I 児童サービス論 情報サービス演習 I 卒業研究 | 図書館制度・経営論 図書館文化史 情報資源組織演習 II 情報サービス演習 II 卒業研究 | |
| 科目数 | 5 | 6 | 4 | 5 | 20 |
| 必修科目計 | 16 | 14 | 9 | 8 | 47 |
| 選択科目※ | | | 日本の文化 メディアリテラシー | | |
| 科目数 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 科目数計 | 16 | 14 | 11 | 8 | 49 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

ただし、図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち34単位を必修、選択科目は2単位以上とする。

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|----------------------|---|--|--|-------------------------------------|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II～1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II～2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (共通、卒業科目群必修科目) プラミング | プログラミング基礎 日本語プレゼンテーション I | 情報処理論 日本語プレゼンテーション II データ分析の方法 Webアプリケーションの作り方 I プログラムの書き方 I | 情報倫理論 編集技法(DTP) I データベース演習 I Webアプリケーションの作り方 II プログラムの書き方 II 卒業研究 | 編集技法(DTP) II データベース演習 II 卒業研究 | |
| 科目数 | 2 | 5 | 6 | 3 | 16 |
| 必修科目計 | 13 | 13 | 11 | 6 | 43 |
| 選択科目※ | 日本の文学 日本語表現基礎 I 情報システムの考え方 | CG(ペイント系)演習 日本語表現基礎 II メディアリテラシー 情報コミュニケーション技術 | CG(イラスト・ドロー系)演習 日本の文化 | CG(動画)演習 | |
| 科目数 | 3 | 4 | 2 | 1 | 10 |
| 科目数計 | 16 | 17 | 13 | 7 | 53 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

総合文化学科 国際観光・ホテルコース

別表11

| 分類 | 区分 | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 | |
|--|------------------|-----------------------|--|-------|-----|------|------|----|----|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | | |
| | | | | | | | 春秋 | 春秋 | | |
| 全 学 共 通 科 目 (A 類) | 聖 徳 教 養 | A 類 | □ 小笠原流礼法基礎講座 | | 2 | ○ | | ○ | | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | | □ 聖徳教育 I | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 聖徳教育 II | | 1 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | □ 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy I) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy II) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| 全 学 共 通 科 目 (A 類) | 教 養 | B 類 | □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | | □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターンシップ) | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | C 類 | □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | D 類 | □ 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | | □ 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | □ 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | | 2 | ※ | ○ | ○ | ○ | |
| 全 学 共 通 科 目 (A 類) | 外 国 語 | 英 語 | □ 日本国憲法 | | 2 | | | ● | ● | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | | □ 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | | | □ 英語 I ~1 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | 英 語 | □ 英語 I ~2 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ 英語 II ~1 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ 英語 II ~2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | | 健 康 教 育 | □ スポーツと健康 I | | ※ | 1 | ○ | ○ | | |
| | | | □ スポーツと健康 II | | ※ | 1 | ○ | ○ | | |
| | | 情 報 | □ 情報活用演習(基礎) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | 「文書作成技法」を読み替え |
| | | | 計 | | 42 | | | | | |

| 分類 | 区分 | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 | |
|--|---|---|-------------------|-------|-----|------|------|----|----|--|
| | | | | | | | 1 | 2 | | |
| | | | | | | | 春秋 | 春秋 | | |
| 専 門 教 育 科 目 (B 類) | キャ リ ア ス ト デ イ キャ リ ア ス ト デ イ 実践演習 | キャ リ ア ス ト デ イ | □ キャリアスタディ I | | 2 | ○ | ○ | | | Academic Literacy III |
| | | | □ キャリアスタディ II | | 2 | ○ | ○ | | | |
| | | 専 門 基 礎 科 目 (情 報 技 術) | □ キャリア実践演習 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ データ整理の方法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ プレゼンテーションの技法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | 専 門 基 礎 科 目 (ビ ジ ネ ス) | □ 文書作成技法 | 演 | (1) | ○ | ○ | | | 情報活用演習(基礎)に充当 |
| | | | □ webの表現技法 | 演 | 1 | ○ | ○ | | | |
| | 環 境 | 環 境 | □ 築記 I | | 2 | ※ | ○ | | | 卒業必修欄に※が付された科目のいずれかを履修すること |
| | | | □ 築記 II | | 2 | | | ○ | | |
| | | | □ 暮らしと経済 | | 2 | ※ | ○ | | | |
| 専 門 教 育 科 目 (B 類) | 観 光 ・ ホ テ ル 科 目 群 (必 修 1 9 単 位) | 観 光 ・ ホ テ ル 科 目 群 (必 修 1 9 単 位) | □ 環境論 | | 2 | ○ | | ● | ● | 春学期または秋学期に開講 1年次または2年次に開講 春学期または秋学期に実施 |
| | | | □ 卒業研究 | 演 | 2 | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | □ 観光学概論 | | 2 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ 観光英会話 I | | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ 観光英会話 II | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ 観光実務(国内) | | 2 | | ○ | | | |
| | | | □ 観光地理 I (国内) | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ 観光地理 II (海外) | | 2 | | | ○ | | |
| | | | □ 海外事情 | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ 観光関連法規・約款 | | 2 | | ○ | | | |
| | | | □ 旅行運賃実務 | 演 | 1 | | | | ○ | |
| | | | □ ツアープランニング演習 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | | | □ ホテルサービス概論 | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ ゲストサービス演習 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | | | □ ホテルの英語 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | | | □ 接客外国語入門 | | 1 | | | | ○ | |
| | | | □ 異文化間コミュニケーション | | 2 | ○ | | | ○ | |
| | | | □ 日本語プレゼンテーション I | | 1 | ○ | ○ | | | |
| | | | □ 日本語プレゼンテーション II | | 1 | | | ○ | | |
| | | | □ ホテル実習 | | 1 | ○ | | ● | ● | |
| | | | □ 地域インターンシップ | 演 | 1 | ● | ● | ● | ● | |
| | | | 計 | | 45 | | | | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科国際観光・ホテルコース観光・ホテル科目群 履修モデル(観光ビジネス実務士取得)

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|--------------|--|---|---|--------------------------------------|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ~1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I ~2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ~1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II ~2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (観光・卒業必修科目群) | 観光英会話 I 観光学概論 日本語プレゼンテーション I | 観光地理 I (国内) ホテル実習 ゲストサービス演習 観光英会話 II ホテルサービス概論 | ホテルの英語 海外事情 卒業研究 | ツアープランニング演習 異文化間コミュニケーション 卒業研究 | |
| 科目数 | 3 | 5 | 3 | 3 | 14 |
| 必修科目計 | 14 | 13 | 8 | 6 | 41 |
| 選択科目※ | 地域インターンシップ | 観光実務(国内) 観光関連法規・約款 日本語プレゼンテーション II 暮らしと経済 | 観光地理 II (海外) 日本の文化 | 接客外国語入門 ホスピタリティ産業論 旅行運賃実務 | |
| 科目数 | 1 | 4 | 2 | 3 | 10 |
| 科目数計 | 15 | 17 | 10 | 9 | 51 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

| 分類 | 区分 | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 |
|------------|------|--|------|-------|-----|------|------|-----|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | |
| 全学共通科目(A類) | 聖徳教育 | <input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座 | | 演 | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育I | | | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育II | | | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy I) | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy II) | | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | |
| | 教養 | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | 教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターナシップ) | | 演 | 1 | | ○ | ○ | |
| | A類 | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | C類 | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) | | | 2 | ※ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 日本国憲法 | | | 2 | | | ● ● | |
| | | <input type="checkbox"/> 社会貢献の理論と実践 | | 演 | 1 | ○ | | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 地域貢献活動の実践 | | 演 | 1 | ○ | | ○ | |
| | 外国語 | <input type="checkbox"/> 英語 I ~1 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 英語 I ~2 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 英語 II ~1 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 英語 II ~2 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | 健康教育 | <input type="checkbox"/> スポーツと健康 I | | | ※ | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> スポーツと健康 II | | | ※ | 1 | ○ | ○ | |
| | 情報 | <input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎) | | 演 | 1 | ○ | ○ | | 「文書作成技法」を読み替え |
| | | | | 計 | | 42 | | | |

| 分類 | 区分 | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 卒業必修 | 履修年次 | | 備考 |
|------------|--------------|---|------|-------|-----|------|------|-----|----------------------------|
| | | | | | | | 1 | 2 | |
| 専門教育科目(B類) | キャリア | <input type="checkbox"/> キャリアスタディ I | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> キャリアスタディ II | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | キャリア | <input type="checkbox"/> キャリア実践演習 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | Academic Literacy III |
| | | <input type="checkbox"/> データ整理の方法 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | 専門基礎科目(情報技術) | <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの技法 | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 文書作成技法 | | 演 | (1) | ○ | ○ | | 情報活用演習(基礎)に充当 |
| | | <input type="checkbox"/> webの表現技法 | | 演 | 1 | | ○ | | |
| | 専門基礎科目(ビジネス) | <input type="checkbox"/> 簿記 I | | | 2 | ※ | ○ | | 卒業必修欄に※が付された科目のいずれかを履修すること |
| | | <input type="checkbox"/> 簿記 II | | | 2 | | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 暮らしと経済 | | | 2 | ※ | ○ | | |
| | 環境 | <input type="checkbox"/> 環境論 | | | 2 | ○ | | ● ● | 春学期または秋学期に開講 |
| | | <input type="checkbox"/> 色彩学 | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | コース共通(4単位) | <input type="checkbox"/> 卒業制作 | | 演 | 2 | ○ | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッションコーディネート論 | | | 2 | | ○ | | |
| | (必修15単位)群 | <input type="checkbox"/> ファッションデザイン画 I | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッションデザイン画 II | | 演 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッション造形実習 I ~1 | | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッション造形実習 I ~2 | | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッション造形実習 II ~1 | | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッション造形実習 II ~2 | | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 和服造形実習 | | 実 | 1 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッションビジネス論 | | 演 | 2 | | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッションビジネス実務演習 | | 演 | 2 | | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> ファッション商品論 | | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> アパレル企画論 | | 演 | 2 | ○ | | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> パターンメイキング人体論 | | | 2 | ○ | | | |
| | | <input type="checkbox"/> アパレル設計・生産実習 | | | 実 | 1 | | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> アパレルCAD演習 | | | 演 | 1 | | ○ | |
| | (必修15単位)群 | <input type="checkbox"/> デザイン論 | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> デッサン | | | 実 | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> 平面と立体の構成 | | | 実 | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> ディスプレイデザイン実習 | | | 実 | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> インテリア計画 | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 人間工学 | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> 設計製図基礎 | | | 2 | ○ | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> CG(ペイント系)演習 | | | 演 | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> CG(イラスト・ドロー系)演習 | | | 演 | 1 | ○ | ○ | |
| | | <input type="checkbox"/> CG(3D)演習 | | | 演 | 1 | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> CG(動画)演習 | | | 演 | 1 | ○ | | |
| | | <input type="checkbox"/> インテリアCAD演習 | | | 演 | 1 | | ○ | |
| | | | | 計 | | 57 | | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科ファッション・造形デザインコースファッション科目群 履修モデル(衣料管理士2級取得)

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|-----------------|---|--|---|--|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II～1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II～2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (ファッション卒業必修科目群) | 色彩学 ファッションデザイン画 I ファッション造形実習 I～1 和服造形実習 アパレルCAD演習 | ファッションデザイン画 II ファッション造形実習 I～2 ファッションビジネス論 | ファッション造形実習 II～1 アパレル企画論 卒業制作 | ファッション造形実習 II～2 ファッション商品論 パターンメイキング人体論 卒業制作 | |
| 科目数 | 5 | 3 | 3 | 4 | 15 |
| 必修科目計 | 16 | 11 | 8 | 7 | 42 |
| 選択科目※ | 生活材料学 I アパレルCAD演習 | アパレル設計・生産論 生活材料学 II 染色加工学 | ファッションコーディネート論 ファッションビジネス実務演習 衣生活論 消費科学 繊維学実験 I 被服整理学 染色加工学実験 | アパレル設計・生産実習 繊維学実験 II 被服整理学実験 | |
| 科目数 | 2 | 3 | 7 | 3 | 15 |
| 科目数計 | 18 | 14 | 15 | 10 | 57 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

総合文化学科ファンクション・造形デザインコース造形デザイン科目群 履修モデル

| | 1年 | | 2年 | | 合計 |
|-----------------|---|--|---|--------------------------------|----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | |
| 全学共通科目 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) | 聖徳教育 I 英語 I～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 | 聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II～1 社会貢献の理論と実践 | 聖徳教育 I 英語 II～2 地域貢献活動の実践 | |
| 科目数 | 7 | 6 | 4 | 3 | 20 |
| 学科共通科目 | キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 | キャリアスタディ II 簿記 I 暮らしと経済 | 環境論 | | |
| 科目数 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| (造形デザイン卒業必修科目群) | 色彩学 デザイン論 デッサン 人間工学 設計製図基礎 | 平面と立体の構成 インテリア計画 CG(ペイント系)演習 | ディスプレイデザイン実習 CG(イラスト・ドロー系)演習 卒業制作 | CG(3D)演習 CG(動画)演習 卒業制作 | |
| 科目数 | 5 | 3 | 3 | 3 | 14 |
| 必修科目計 | 16 | 11 | 8 | 6 | 41 |
| 選択科目※ | Webの表現技法 | 情報処理論 データ分析の方法 Webアプリケーションの作り方 I 情報システムの考え方 | インテリアCAD演習 情報倫理論 プログラミング基礎 プログラムの書き方 I Webアプリケーションの作り方 II | 情報コミュニケーション技術 プログラムの書き方 II | |
| 科目数 | 1 | 4 | 5 | 2 | 12 |
| 科目数計 | 17 | 15 | 13 | 8 | 53 |

※全コースの科目及び資格の科目群から17単位以上を履修

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(フード科目群) カリキュラムマップ

| | 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| 食品、健康、調理の基礎知識を身につける | 「食」の基本を身につける 食品学 調理学 健康と栄養 | 「食」を通じて視野を広げる 〔選択〕フードスペシャリスト論 健康と栄養 | 「食」を通じて考える力をつける 〔選択〕官能評価論・鑑別論 〔選択〕献立の組立て方 | 「食」に関する総合的な知識を得る 〔選択〕食品加工実習 〔選択〕献立の組立て方 |
| 調理技術や製菓の製作技術の基礎を身につける | 基礎調理実習 製菓・製パン入門Ⅰ 製菓・製パン入門Ⅱ | 調理実習(和食) 〔選択〕調理実習(中華) 〔選択〕調理実習(西洋) | 〔選択〕調理実習(中華) 〔選択〕調理実習(西洋) | 調理実習(集団調理) 〔選択〕調理実習(中華) 〔選択〕調理実習(西洋) |
| 高密度な専門技術を修得しつける | 〔選択〕調味料演習 | 〔選択〕調味料演習 | 食文化概論 卒業研究 | 〔選択〕フードコーディネート論 食品流通論 卒業研究 |
| 広い視野で「食」を学び、自らの感性を育てる力が身につく | データ整理の方法 プレゼンテーション技法 Webの表現技法 | 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択必修〕暮らしと経済 Webの表現技法 | 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択必修〕暮らしと経済 | 〔選択〕簿記Ⅰ 〔選択〕暮らしと経済 |
| ビジュアルで活きる実践的技能や観点を身につける | キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 | キャリアスタディⅡ キャリア実践演習 | 地域貢献の理論と実践 | 地域貢献の理論と実践 |
| キャラクタ実践力を形成する | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習（基礎） | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～1 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～2 環境論 環境論 |
| 学びの基礎を身につける | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic Literacy I・II |
| 人間性を高める | 小笠原流礼法基礎講座 | 2年次 | 2年次 | 「食」を多方面から見て、専門性を高める |
| 教育目標 | 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ | | | |

食品、健康、調理に関する知識と技能を持ち、
食を総合的にデザインする能力のある人

| | 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
|---------------------------|--|--|---------------------|--|
| 「食」の基礎を身につける | 「食」を通じて視野を広げる | 「食」を通じて考える力をつける | 「食」に関する総合的な知識を得る | 「食」に関する総合的な知識を得る |
| 食品、健康、調理の基礎知識を身につける | 食品と栄養素及び調理の基礎を学び、食生活に取り入れることができる。 | 食品と実践的に活動することができる。衛生についての基礎を学び、 | 食品を正しく選択し、食品の評価ができる | 食品の加工や成分変化を知り、取り扱いなどに必要な多面的な思考力を身に付けることができる。 |
| 調理技術や製菓の製作技術の基本を身につける | 調理、製菓の基礎を学び、基本技術を食生活に取り入れることができる。 | 食品と栄養素及び調理技術を身につけ、和食を食べることができる。 | (GPA) | (GPA) |
| 高度な専門技術を修得し、心用力、創造性を身につける | 調味料の特徴や使い方を身につけることができる。 | 中華料理と西洋料理の調理の基礎を学び、食生活に取り入れることができる。 | (実習) | (GPA、実習) |
| 広い視野で「食」を学び、自らの感性を育むにつくる | 調味料の特徴や使い方を食生活に取り入れることができる。 | 中華料理と西洋料理の調理の基礎を学び、食生活に取り入れることができる。 | (実習) | (実習) |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 | 簿記記入基礎的技能を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。 | (GPA、実習) | (GPA) |
| キャリア実践力を形成する | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 | 課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。 | (GPA) | (GPA、発表) |
| 人間性を高める | 学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。 | 種々の場面における最適な英語表現を選ぶにとどまることができる。 | (GPA) | (活動実績、発表) |
| 教育目標 | 社会生活の中で自己実現するための行動規範を認識することができる。 | 他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。 | (GPA) | (出席率) |
| | 食品の知識、調理技術や製菓つくりの基礎を学ぶ | 「食」を多方面から見て、専門性を高める | 1年次 | 2年次 |
| | | | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) カリキュラムマップ

食品、健康、調理に関する知識と技能を持ち、
食を総合的にデザインする能力のある人材

| | 1年次春学期 製菓と食品委嘱の基礎知識を学ぶ | 1年次秋学期 製菓に関する技能と関連技術の修得を目指す | 2年次春学期 製菓の基礎知識と技能を学ぶ | 2年次秋学期 製菓技術の進化と応用技術を学ぶ |
|-------------------------------------|--|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 食品、健康、調理の基礎知識 を身につける | 食品学 調理学 健康と栄養 | 食品衛生学 | | |
| 調理技術や製菓の製作技術 の基本を実践的に身につける | 基礎調理実習 製菓・製パン入門Ⅰ 製菓・製パン入門Ⅱ | [選択] フランス菓子基礎Ⅰ [選択] フランス菓子基礎Ⅱ [選択] フランス菓子基礎Ⅲ [選択] フランス菓子基礎Ⅳ | [選択] フランス菓子基礎Ⅲ [選択] フランス菓子基礎Ⅳ | [選択] フランス菓子基礎Ⅴ [選択] フランス菓子基礎Ⅵ |
| 製菓における高度な専門技 能を身につける | | シューガークラフトⅠ シューガークラフトⅡ | 卒業制作(シューガークラフトⅢ) | [選択] フランス菓子基礎Ⅰ [選択] フランス菓子基礎Ⅱ |
| 広い視野で「食」を学び、 自らの感性を育てる力が身 につく | 製菓フランス語 | | 食文化概論 | 食品流通論 |
| ビジネスで活きる実践的技 能や視点を身につける | データ整理の方法 プレゼンテーション技法 Webの表現技法 | [選択必修] 簿記Ⅰ [選択必修] 書らしと経済 | [選択] 簿記Ⅱ | |
| キャリア実践力を形成する | キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 | キャリアスタディⅡ | | |
| 学びの基礎を身につける | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎) | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～1 環境論 | 英語Ⅱ～2 環境倫 |
| 人間性を高める | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅰ 環境倫 |
| 教育目標 | 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ | 1年次 | 2年次 | 「食」を多方面から見て、専門性を高める |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

| パーティシエール（パーティショ）としての力を有し、 製菓・食品業界で活躍できる人材を育む | | | |
|---|--|---|--|
| 卒業認定・学部授与の方針に掲げる 学修成果 | | | |
| 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
| 製菓と食品に係わる基礎知識を学ぶ | 製菓に係わる技能と関連技術の習得を目指す | 製菓の基礎知識を技能を学ぶ | 製菓技術の深化と応用技術を学ぶ |
| 食品、健康、調理の基礎知識を身につける | 食品と栄養素及び調理の基礎を身につけての基礎を学び、実践に活かすことができる。 | 西欧菓子作りの知識と技能を基本的に身に付けることができる。 | 専門分野及び事門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用による複合的な社会問題に適応する力・実践的思考・実践的問題解決能力を身に付けることができる。 |
| 調理技術や製菓の製作技術の基本を実践的に身につける | 調理の基礎を学び、基本技術を取り入れることができる。食生活に取り入れることができる。 | 砂糖を原料とするケークデコレーションの基礎を身に付けることができる。 | 西欧菓子製造の専門的な知識と技能を身に付けることができる。 |
| 製菓における高度な専門技術を修得し、応用力、創造性を身につける | 製菓に関するフランス語を修得し、実践で応用することができる。 | 食に関する多文化、異文化の知識を修得し、教養の幅を広げることができる。 | フードスペシャリストとして、食品開発・流通など多方面から「食」を見ることができる。 |
| 広い視野で「食」を学び、自らの感性を育むにつく | 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 | 簿記の基礎的技能を習得するとともに、経済上の特有问题などを明確に説明することができる。 | 簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。 |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 | 課題発見と解決策を明解に表出し、説得力のある説明ができる。 | 地域社会と積極的に関わり、課題解決に至る合理的な思考ができる。 |
| キャラクタ実践力を形成する | 学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。 | 英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。 | 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションができる。 |
| 人間性を高める | 社会生活の中で自己実現するための行動規範を認識することができる。 | 種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。 | 思いやりと礼節心をもつて他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。 |
| 教育目標 | 1年次 | 2年次 | 2年次 |
| 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ | 「食」を多方面から見て、専門性を高める | 「食」を理解し、実生活に応用することができる。 | 卒業認定・学部授与の方針に掲げる 学修成果 |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース（図書館司書科目群）カリキュラムマップ

| | 1年次春学期 図書館の基礎を学ぶ | 1年次秋学期 図書館の基礎と情報サービスについて学ぶ | 2年次春学期 応用技能を習得する | 2年次秋学期 応用技能と実践的な力を発展させる |
|------------------------------------|--|-------------------------------|--|---|
| 図書館の本質を理解し、図書館経営の基本的知識を身に付ける | 生涯学習概論 図書館概論 | 図書館の基礎と情報サービスについて学ぶ | 図書館サービス概論 情報資源概論 | 図書館制度・経営論 図書館文化史 卒業研究 |
| 情報資源の特徴を理解し、情報資源組織化の理論・技術を身につける | 情報資源概論 | | 情報資源組織論 情報資源原特論 | 情報資源組織演習Ⅰ 情報資源組織演習Ⅱ |
| 各種サービスの理論を理解し、情報サービス・児童サービスの実践力を養う | | | 情報サービス論 情報処理技術概論 | 児童サービス演習Ⅰ 情報サービス演習Ⅱ |
| 日本の文化、日本語表現を理解し、日本文学についての教養を身につける | 〔選択必修〕日本の文学 〔選択必修〕日本語表現基礎Ⅰ | | 〔選択必修〕日本語表現基礎Ⅱ 〔選択必修〕メディアリテラシー | 〔選択必修〕日本の文化 〔選択必修〕メディアリテラシー |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 Webの表現技法 | | 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択必修〕暮らしと経済 〔選択必修〕簿記Ⅱ | |
| キャラリア実践力を形成する | キャラリアスタディⅠ キャラリア実践演習 | | キャラリアスタディⅡ | 社会貢献の理論と実践 地域貢献活動の実践 |
| 学びの基礎を身につける | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習（基礎） | | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～2 環境論 環境論 |
| 人間性を高める | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 2年次 図書館サービスの機能と図書館サービスの基礎について学ぶ |
| 教育目標 | | | | 図書館サービスの応用について学ぶ |

図書館司書として、分析・処理能力を身につけ、
ビジネス人として活躍できる

図書館情報の検索・分析・ビジネスとして活躍できる人

| | | 卒業認定・学位授与の方針に掲げ る学修成績 | |
|------------------------------------|---|--|---|
| 1年次春学期 | 1年次秋学期 について学ぶ | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
| 図書館の基礎を学ぶ | 図書館の基礎と情報サービスについて学ぶ | 応用技能を習得する | 応用技能と実践的な力を発展させる |
| 図書館の意義と図書館の役割について理解できる。 | 図書館サービスの内容について適切な判断ができる。 | 卒業研究を通して文献の調査、分析に関する知識を習得できる。 | 図書館の制度や図書館経営について学び、図書館司書の使命を認識することができる。 |
| (GPA) | (GPA・実習) | (GPA・実習) | (GPA・実習) |
| 生涯学習の本質を理解し、図書館経営の基本的知識を身に付ける | 図書館資源について理解することができる。 | 図書館の情報資源について、規則に従つて分類・整理することができる。 | 図書館の情報資源について、規則に従つて適切に目録を作成することができる。 |
| (GPA) | (GPA) | (GPA・実習) | (GPA・実習) |
| 各種サービスの理論を理解し、情報資源組織化の理論・技術を身に付ける | 図書館で扱う情報資源について理解することができる。 | 図書館の情報資源について、規則に従つて分類・整理することができる。 | 図書館の情報資源について、規則に従つて適切に目録を作成することができる。 |
| (GPA) | (GPA) | (GPA・実習) | (GPA・実習) |
| 日本文化、日本語表現について理解し、日本文学における教養を身につける | 作品講読を通じて人生と文学との関係を捉えることができる。 | 利用者に情報を提供する図書館司書の役割を把握し、図書館において活用されている情報技術について理解できる。 | 図書館の情報資源について、規則に従つて適切に目録を作成することができる。 |
| (GPA) | (GPA) | (GPA) | (GPA・実習) |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | 日本語運用に必要な基礎的知識を修得し、文字・音声面での的確に表現することができる。 | 日本語運用に必要な基礎的知識を修得し、会話や昔話などのサービスや情報検索サービスを学び、実社会で活かすことができる。 | レフアレンスサービスの理論と実践的な力をつけることができる。 |
| (GPA) | (GPA) | (GPA) | (GPA・実習) |
| キャラクタ実践力を形成する | 各種パソコン・ソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 | 簿記検定2級レベルの技能を習得し、簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。 | 社会生活を営む上で必要な知識・技能を身につけ、プレゼンテーションなどの実践的技能が發揮できる。 |
| (GPA) | (GPA) | (GPA) | (GPA) |
| 学びの基礎を身につける | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 | 課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。 | 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。 |
| (GPA) | (GPA) | (活動実績、発表) | (活動実績、発表) |
| 教育目標 | 図書館の機能と図書館サービスの基礎について学ぶ | 1年次 | 2年次 |
| | | | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成績 |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース（プログラミング科目群）カリキュラムマップ

| 1年次春学期 | | 1年次秋学期 | | 2年次春学期 | | 2年次秋学期 | |
|---------------------------------|------------------------------------|---|--|---|---|---|---|
| 情報処理の技術を学ぶ | | 情報処理の技術を使う | | 情報処理による課題解決法を知る | | 情報処理による課題解決を行う | |
| 情報技術を多角的に活用し問題を解決する能力のある人 | | | | | | | |
| 教養ある人が知るべき情報と識を身につける | コンピュータを利用して情報を解釈し、効果的に伝達する技能を身につける | 日本語プレゼンテーションⅠ | 日本語プレゼンテーションⅡ | [選択] CG(ペイント系)演習 編集技法(DTP)Ⅰ | [選択] CG(ペイント系)演習 CG(動画)演習 | [選択] CG(イラスト・ドロー系)演習 編集技法(DTP)Ⅱ | [選択] CG(イラスト・ドロー系)演習 編集技法(DTP)Ⅱ |
| コンピュータを利用してデータを系統的に分析する技能を身につける | 課題を発見、理解し、これを情報システムに解決する力を身につける | データ分析の方法 | データベース演習Ⅰ | データベース演習Ⅱ | データベース演習Ⅰ | データベース演習Ⅱ | データベース演習Ⅱ |
| ビジネスで生きる実践的技能や視点を身につける | キャラリア実践力形成する | Webアプリケーションの作り方Ⅰ 情報システムの考え方 | Webアプリケーションの作り方Ⅰ 情報システムの考え方 | Webアプリケーションの作り方Ⅰ 卒業研究 | Webアプリケーションの作り方Ⅰ 卒業研究 | 情報コミュニケーション技術 | 情報コミュニケーション技術 |
| 学びの基礎を身につける | 人間性を高める | データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 Webの表現技法 | キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 | [選択必修] 謄記Ⅰ [選択必修] 嘉らしさと経済 [選択必修] 謄記Ⅱ | キャリアスタディⅡ 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎) | 社会貢献の理論と実践 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 社会貢献活動の実践 英語Ⅰ～2 環境論 環境論 |
| 教育目標 | 情報処理技術を理解するとともに利用技能を身につける | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic Literacy I・II |
| | | 1年次 | 2年次 | 2年次 | 2年次 | 2年次 | 2年次 |
| 情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける | | | | | | | |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース（プログラミング科目群）学びで得られる成果（Learning Outcomes）

| | 1年次春学期 情報処理の技術を知る | 1年次秋学期 情報処理の技術を使う | 2年次春学期 情報処理による課題解決法を知る | 2年次秋学期 情報処理による課題解決を行う | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果 |
|-----------------------------------|---|---|---|---|--|
| 教養ある人が知るべき情報とコミュニケーションの知識を身につける | 伝えるべき情報を知ることで、「情報の符号化としてのデータの構成が理解できる。」 (GPA、実習) | デジタルコンピューターの本質を理解する。 (GPA、実習) | デジタルコンピューティングが生活に与える影響を理解し、安全に利便性を享受できる。 (GPA) | デジタルコンピューティングが生活に与える影響を理解し、安全に利便性を享受できる。 (GPA) | 専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| コンピュータを利用して情報収集し、効果的に伝達する技能を身につける | コンピュータを用いて情報分析を行う。 技能を身につける | 情報を図像で表現したり、テキストを組版する方法を理解できる。 (GPA) | 情報を図像で表現したり、テキストを組版する方法を理解したり、伝わりやすい情報表現ができる。 (GPA、実習) | 情報を図像で表現したり、テキストを組版する方法を理解したり、伝わりやすい情報表現ができる。 (GPA、実習) | 専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| ビジネスで活きる実践的技能を身につける | コンピュータを利用して情報分析を行う。 技能を身につける | データを分かりやすく整理し、簡単な分析を行うことができる。 (GPA、実習) | 大規模なデータ集合から、目的に合うデータを抽出したり、情報をデータとして符号化できる。 (GPA、実習) | 大量のデータを分析したり、解釈して、情報を抽出することができる。 (GPA、実習) | 専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| キャリア実践力を形成する | 課題を発見、理解し、これを情報システムによる解決する力を身につける | 情報システムはどのような課題をどのようなく解消するかを理解できる。 (GPA、実習) | 情報システムで解決すべき課題を発見し、問題解決のための要件を理解できる。 (GPA、実習) | 問題解決のためのシステム要件を実現するための技法を理解し、基本的なシステムを実装できること。 (GPA、実習) | 社会生活を営む上で必要な知識・技能・学力を身に付け、プレゼンテーションなどの実践的技能が発揮できる。 |
| 人間性を高める | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 (GPA) | 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 (GPA、実習) | 簿記の基礎的技能を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。 (GPA) | 簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができます。 (GPA) | 社会生活を営む上で必要な知識・技能・学力を身に付け、プレゼンテーションなどの実践的技能が発揮できる。 |
| 教育目標 | 社会生活の中で自己実現するための基礎的な知識・体力・技能について、自己分析することができる。 (GPA) | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 (GPA) | 課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。 (活動実績、発表) | 地域社会と積極的に関わり、課題解決に至る合理的な思考ができる。 (活動実績、発表) | 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。 |
| | 社会生活の中で自己実現するための基礎的な知識・体力・技能について、自己分析することができる。 (GPA) | 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えることとともに、美社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。 | 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えることとともに、美社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。 | 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えることとともに、美社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。 | 思いやりと礼節心をもつて他者と関わわり、田舎な人間関係を形成することができる。 |
| | 情報処理技術を理解することで利用技能を身につける | 1年次 情報処理技術を理解することで利用技能を身につける | 2年次 情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける | 2年次 情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果 |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 國際觀光・ホテルコース カリキュラムマップ

カリキュラムマップ

| | 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
|--------------------------------|--|---|--|--|
| 観光業務の基礎的な知識を学び、ツアープランを作ることができる | 観光・ホテルの基礎を学ぶ 観光学概論 観光英会話Ⅰ | 観光・ホテルの実務を学ぶ 〔選択〕観光実務（国内） 観光地理Ⅰ（国内） 〔選択〕観光関連法規・約款 | 体験を通して理解を深める | ホスピタリティーマインドを体得する ツアープランニング演習 〔選択〕旅行運賃実務 |
| | ホテル業務の基礎的な知識を学び、サービスのノウハウを身につける | ホテルサービス概論 ●ホテル実習 | ホテルの英語 ●ホテル実習 | |
| ホスピタリティ産業のノウハウを学び、技能を身につける | 〔選択〕地域インターナシップ 〔選択〕ゲストサービス演習 〔選択〕地域インターナシップ | 〔選択〕観光英会話Ⅱ 〔選択〕日本語フレンチーションⅡ | 〔選択〕観光地理Ⅱ（海外） 海外事情 卒業研究 | 〔選択〕接客外国語入門 〔選択〕異文化間コミュニケーション |
| | 観光・ホテル業務に必要な語学力を磨き、各國の文化や習慣を理解できる | データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 Webの表現技法 | 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択必修〕暮らしと経済 〔選択必修〕簿記Ⅱ | 〔選択〕簿記Ⅰ 〔選択〕簿記Ⅱ |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | キャリア実践力形成する キャリア実践演習 | キャリアスタディⅠ キャリアスタディⅡ | 社会貢献の理論と実践 | 地域貢献活動の実践 |
| | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習（基礎） | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅰ～1 教養科目 | 英語Ⅱ～2 環境論 |
| 人間性を高める | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 環境論 |
| | 教育目標 | 1年次 | 2年次 | 観光・ホテル業界に必要なホスピタリティーとは何かを理解する |

英会話力を持ち、旅行業務に関する知識と技能及びホスピタリティーアイソンドのある人

2019年度入学生

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 國際観光・ホテルコース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

| | 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果 |
|-------------------------------------|--|--|-------------------------|-----------------------------------|--|
| 観光・ホテルの基礎を学ぶ | 観光・ホテルの実務を学ぶ | 体験を通して理解を深める | | ホスピタリティーマインドを体得する | |
| 観光業務の基礎的な知識を作ることができる | 観光業はどのようなものか、自分が客の立場で理解できる。 | 観光業に必要な基礎知識を身につけることができる。 | 旅程制作に必要な知識を身につけることができる。 | お客様の期待値を理解し、お客様の要望に添った旅行計画を作成できる。 | 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| ホテル業務の基礎的な知識を学び、サービスのノウハウを身につける | ホテル業とはどのようなものか、業務の種類を学ぶことができる。 | 様々なお客様にサービスすることができる(必要な基礎的な英単語やフランス語単語を発話できる)。 | ホテルの業務を実体験することができる。 | ホテルの業務を実体験することができます。 | 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| ホスピタリティ産業のノウハウを学び、技術を身につける | ホスピタリティ産業で働くことはどういうことかを理解できる。 | 様々なホスピタリティ産業があることを理解できる。 | (GPA) 実技テスト | (GPA) | |
| 観光・ホテル業務に必要な英語力を磨き、各國の文化や習慣慣習を理解できる | 相手に伝えることできちんと表現できる。 | 英語圏を旅行する際に必要な英語を使うことができる。 | (GPA) 報告発表会 | (GPA) | 接客に必要な最低限の外国語表現を学ぶことができる。 |
| ビジネスで生きる実践的技能や視点を身につける | 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 | 簿記の基礎的技能を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。 | (GPA) | (GPA) | 外国人の人とコミュニケーションをとることができ。ビジネスに活用することができる。 |
| キャリア実践力を形成する | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 | 社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に応応することができる。 | (GPA) | (GPA) | 課題発見と解決策を明確にすることができる。 |
| 人間性を高める | 学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。 | 種々の場面における最も英語表現を選ぶことができる。 | (GPA) | (活動実績、発表) | 地域社会と積極的に関わり、課題解決ができる。 |
| 教育目標 | 社会生活の中で自己実現するため必要な行動規範を認識することができる。 | 幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションができる。 | (GPA) | (GPA) | 英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。 |
| | 観光・ホテル業界に必要なホスピタリティとは何かを理解する | 他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。 | (GPA) | (出席率) | 「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に応用することができる。 |
| | | 人間性を高めることで理解する | | | 思いやりと礼節心をもつて他人との関わり、円滑な人間関係を形成することができる。 |
| | | 2年次 | | | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果 |

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・造形デザインコース（ファッショングループ）カリキュラムマップ

| | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|--|
| ファッショングループの基礎的な知識・技術を身につけ、日常生活に役立てる | 1年次春学期 ファッショントレーニング基礎知識を習得する | 1年次秋学期 ファッショントレーニングに係わる基礎技術を身につける | 2年次春学期 ファッショントレーニングに係わる専門知識と技能を身につける | 2年次秋学期 ファッショントレーニングに係わる実践的な力を身につける |
| | ファッショントレーニング画Ⅰ 色彩学 | ファッショントレーニング画Ⅱ 和服造形実習 | ファッショントレーニング画Ⅲ 卒業制作 | ファッショントレーニング論 卒業制作 |
| アパレル企業で使用するパートナー技術を身につけ、企業で役立てる | ファッショントレーニング造形実習Ⅰ～1 和服造形実習 | ファッショントレーニング造形実習Ⅰ～2 和服造形実習 | ファッショントレーニング造形実習Ⅱ～1 和服造形実習 | ファッショントレーニング造形実習Ⅱ～2 和服造形実習 |
| | アパレルCAD演習 | [選択] アパレル設計・生産論 | アパレル企画論 | アパレル設計・生産実習 アパーンメイキング人体論 |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける | データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 Webの表現技法 | [選択] アパレル設計・生産論 [選択必修] 墓らしへ経済 | [選択] 墓らしへ [選択必修] 薄記Ⅰ | [選択] 墓らしへ [選択必修] 薄記Ⅱ |
| | キャリア実践力形成する | キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 | キャリアスタディⅡ | 社会貢献の理論と実践 地域貢献活動の実践 |
| 人間性を高める | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習（基礎） | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～1 環境論 | 英語Ⅱ～2 環境論 |
| | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II |
| 教育目標 | ファッショングループに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける | 2年次 | 2年次 | ファッショングループに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける |

ファッションのデザイン・造形技能とファッションセンスを身に付けた人

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・造形デザインコース（ファッショングループ）学びで得られる成果（Learning Outcomes）

| 卒業認定・学部修成結果 | | | |
|---|---|---|--|
| 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
| ファッションに係わる基礎知識を習得する | ファッションに係わる基礎技術を身につける | ファッションに係わる基礎知識と技能を身につける | ファッションの知識と技能を身につける |
| ファッションデザインの基礎的な知識・技術を身につけて、日常生活に役立てる | 新しい物づくりの提案や企画、デザインを学び、造形に関する知識や表現力を基礎から身につけることができる。 | コーディネートに欠かせないアイデアを紙の上に表現するための基本を身に付けることができる。 | 短大で学んだすべてを活かし、個性豊かな作品を制作することができます。 |
| ファッション造形の基礎的な知識・技術を身につけて、日常生活に役立てる | 新しい物づくりの提案や企画、デザインしたアイテムを身に着けたり、着用することができる。 | ボディの描き方、ポーズの作り方、着色方法、着装方法、色彩感覚を身につけることができる。 | コームで個性的な美しいアイデアに重きをおくべき、時代に対応しながらファッションをトータルにどうえることができる。 |
| ファッション企業の業務内容を身につけて、企業で役立てる | アパレル企業で使用するバターン技術を身につけて、企業で役立てる | 服づくりの充実した基礎教育と専門教育を学び、ファッションの知識と技術を身につけることができる。 | ファッションの基礎造形の基礎と応用技術を身につけて、盤面豊かな作品を制作することができる。 |
| アパレルCADの知識と操作方法のスキルを身につけて、バターンメイキングなどスムーズに行うことができる。 | 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。 | アパレルメーカーの設計から生産までを学ぶことで企業での物作りの全体の流れを身につけることができる。 | アパレル企業の業務内容（ファッション商品、企画、販売）を理解し、説明する能力を身につけることができる。 |
| キャラリア実践力を形成する | 人間性を高める | 社会人基礎力を備え、一般企業の慣習に付けることができる。 | アパレル企業の実務内容（ファッション商品、企画、販売）を理解し、企画商品を企画することができる。 |
| 教育目標 | 教育目標 | 社会生活の中で必要な知識・技能を身につける | 社会生活の中で必要な知識・技能・学力を身につけ、ファッションなどの実践的技能が発揮できる。 |
| 卒業認定・学部修成結果 | 卒業認定・学部修成結果 | 卒業認定・学部修成結果 | 卒業認定・学部修成結果 |

2019年度入学生

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・造形デザインコース（造形デザイン科目群）カリキュラムマップ

| | 1年次春学期 | 1年次秋学期 | 2年次春学期 | 2年次秋学期 |
|---------------------------------|--|---|----------------|---------------------------------|
| デザインに関する基礎知識及び専門知識を身に付けることができる | デザインの基礎理解 人間工学 色彩学 | 表現技術の習得、専門知識の理解と習得 インテリア計画 | 表現技術の応用と実践 | 専門知識の習得と応用 |
| デザインに関する専門的な表現技術を身に付けることができる | デッサン 平面と立体の構成 設計製図基礎 | ディスプレイデザイン実習 | | |
| コンピューター上でグラフィック表現技術を身に付けることが出来る | CG(ペイント系)演習 〔選択〕インテリアCAD演習 | CG(イラスト・ドロー系)演習 CG(3D)演習 CG(動画)演習 | | |
| 習得した専門知識と表現技術を用いて自ら計画立案できる | | 卒業制作 | 卒業制作 | |
| ビジネスで生きる実践的技能や視点を身につける | データ整理の方法 プレゼンテーションの技法 Webの表現技法 | 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択必修〕暮らしと経済 | 〔選択〕簿記Ⅱ | |
| キャリア実践力を形成する | キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 | キャリアスタディⅡ | 社会貢献の理論と実践 | 地域貢献活動の実践 |
| 学びの基礎を身につける | 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習（基礎） | 英語Ⅰ～2 スポーツと健康Ⅱ 教養科目 | 英語Ⅱ～1 環境論 | 英語Ⅱ～2 環境論 |
| 人間性を高める | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SENTOKU Academic Literacy I・II | 聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SENTOKU Academic Literacy II | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ | 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ |
| 教育目標 | デザイン・インテリアに関する基礎知識と設計表現の基礎技術の習得 | 1年次 | 2年次 | 設計やCGの表現技術の応用力の習得を通じて、就業できる力を得る |

豊かな感性と確かな表現技術を身につけデザインを通じて社会に貢献できる人

2019年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・造形デザインコース（造形デザイントーキー）学びで得られる成果（Learning Outcomes）

| | 1年次春学期 デザインの基礎理解 | 1年次秋学期 表現技術の習得・専門知識の理解と習得 | 2年次春学期 表現技術の応用と実践 | 2年次秋学期 専門知識の習得と応用 | 卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果 |
|---|--|---|------------------------------------|------------------------------------|--|
| デザイン・インテリアに関する基礎知識及び事門知識を身に付けることができる。（GPA） | デザインや人間工学、色彩の基本的な考え方を理解することができる。 | 住まい、インテリアの基本的な考え方を理解することができる。 | | | |
| デザイン・インテリアに関する基礎知識及び事門知識を身に付けることができる。（GPA） | デッサンなどの基本的な表現ができる。 | 平面構成、立体構成、インテリ ア設計製図の表現技術が身に付いている、基本的な表現ができる。 | デジタルデザインの知識があり、高度な表現源ができる。 | | 専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 |
| デザイン・インテリアに関する基礎知識及び事門知識を身に付けることができる。（GPA） | （作品制作） | （作品制作） | （作品制作） | （作品制作） | |
| コンピュータ上でグラフィック表現技術を身に付けることができる。（GPA、実習） | CG（ペイント系）の知識があり、高度な表現ができる。 | CG（イラスト・ドロー系、CAD）の知識があり、高度な表現ができる。 | CG（3D、動画）の知識があり、高度な表現ができる。 | | |
| 習得した専門知識と表現技術を用いて自ら計画立案できる。（GPA） | | （作品制作） | （作品制作） | （作品制作） | |
| ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける。（GPA、実習） | 各種パソコンソフトの操作技術を習得することができる。 | 簿記の基礎的技能を習得し、自ら計画、製作することができる。 | 簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。 | （GPA） | （GPA） |
| 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。（GPA） | 自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 | 社会人基礎力を備え、一般企業の運営性検査に対応することができる。 | 課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。 | （活動実績、発表） | （活動実績、発表） |
| キャラクタ実践力を形成する学びの基礎を身につける。（GPA） | 学習成果を獲得するための基礎的な知識・体力・技能について、自己分析することができる。 | 幅広い教養を身に付けるとともに、英語によるコミュニケーションをとることができる。 | 英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。 | （GPA） | （GPA） |
| 人間性を高める。（GPA） | 社会生活の中で自己実現するためには行動規範を認識することができる。 | 情操を高め、教養の幅を拓げるこができる。 | 他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができます。 | （出席率） | （出席率） |
| 教育目標 | デザイン・インテリアに関する基礎知識及び事門知識を身につける。（GPA） | 1年次 | 設計やCGの表現技術の応用技術の習得 | 「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に応用することができる。 | 2年次 |

豊かな感性と確かな表現技術を身につけるデザインを通じて社会に貢献できる人

[図書館司書]

別表13

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 司 書 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|--------------------------------------|------|-------|-----|--------|------|---|---|---|--|--|
| | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 生涯学習概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報処理技術概論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論 | | | 2 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館サービス概論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 児童サービス論 | | | 2 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス演習 I | | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス演習 II | | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源概論 | | | 2 | ○ | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 I | | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 II | | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館基礎特論 | | | 2 | △ | | | | | △印を付された科目について、短期大学部向けに開講されるのは情報資源特論と図書館文化史のみである。その他の科目の履修を希望する場合は、4年生大学向けに開講された科目を担当教員の許可を得て履修すること | |
| <input type="checkbox"/> 図書館サービス特論 | | | 2 | △ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報資源特論 | | | 2 | △ | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館文化史 | | | 2 | △ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館施設論 | | | 2 | △ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 図書館総合演習 | | | 1 | △ | | | | | | |

[履修上の注意]

図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。

[調理師受験対策講座]

別表14

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|-------------------------------------|------|-------|-----|------|---|---|---|----|--|
| | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 健康と栄養 | | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 官能評価論、鑑別論 | | 演 | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 食品学 | | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 食品衛生学 | | | 2 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 食文化概論 | | | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 調理学 | | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 献立の組立て方 | | | 2 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 食品加工実習 | | | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 基礎調理実習 | | 実 | 1 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 調理実習(和食) | | 実 | 1 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 調理実習(中華) | | 実 | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 調理実習(西洋) | | 実 | 1 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 調理実習(集団調理) | | 実 | 1 | | | | ○ | | |

※調理師試験の受験には、卒業後2年間の実務経験が必要です。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

[衣料管理士(2級)]

別表15

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|--------------------------|-------------|-------|-----|------|---|---|---|----|--|
| | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> | ファッションビジネス論 | 演 | 2 | | ◎ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 衣生活論 | | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | ファッション商品論 | 演 | 2 | | | | ◎ | | |
| <input type="checkbox"/> | アパレル設計・生産論 | 演 | 2 | | ◎ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | アパレル企画論 | 演 | 2 | | | ◎ | | | |
| <input type="checkbox"/> | アパレルCAD演習 | 演 | 1 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 生活材料学Ⅰ | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 生活材料学Ⅱ | | 2 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 繊維学実験Ⅰ | 実 | 1 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 繊維学実験Ⅱ | 実 | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | 染色加工学 | | 2 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 被服整理学 | | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 染色加工学実験 | 実 | 1 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 被服整理学実験 | 実 | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | アパレル設計・生産実習 | 実 | 1 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | 色彩学 | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 消費科学 | | 2 | | | ○ | | | |

[フードスペシャリスト(受験資格)]

別表16

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | 履修年次 | | | | 備考 | |
|--------------------------|-------------|-------|-----|------|---|---|---|----------|--|
| | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> | フードスペシャリスト論 | | 2 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | フードコーディネート論 | | 2 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | 官能評価論、鑑別論 | 演 | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 基礎調理実習 | 実 | 1 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 調理実習(和食) | 実 | 1 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 調理学 | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 食品加工実習 | 実 | 1 | | | | ○ | 食品加工学を含む | |
| <input type="checkbox"/> | 食品流通論 | | 2 | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> | 食文化概論 | | 2 | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> | 食品学 | | 2 | ○ | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 食品衛生学 | | 2 | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 健康と栄養 | | 2 | ○ | | | | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

[ビジネス実務士・秘書士・情報処理士・観光ビジネス実務士]

別表17

| チ エ ック 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位数 | ビジネス 実務士 | 秘 書 士 | 情報 処理 士 | 観光 実務 士 | 履修年次 | | 備 考 | |
|--|------|-------|-----|-------------|-------------|---------------|---------------|--------|---|--------------------------|--|
| | | | | | | | | 1 2 | | | |
| | | | | | | | | 春 | 秋 | | |
| <input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎) (「文書作成技法」) | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 社会貢献の理論と実践 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 地域貢献活動の実践 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| <input type="checkbox"/> キャリアスタディI | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> キャリアスタディII | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> データ整理の方法 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの技法 | 実 | 1 | | | | ○ | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> webの表現技法 | 演 | 1 | | | | ○ | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 暮らしと経済 | | 2 | ※ | ※ | ※ | ※ | | | ○ | ※が付された科目の いずれかを履修すること | |
| <input type="checkbox"/> 簿記I | | 2 | ※ | ※ | ※ | ※ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーションI | 演 | 1 | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーションII | 演 | 1 | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> ビジネス実務総論I | | 2 | ○ | | | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> ビジネス実務総論II | | 2 | ○ | | | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> ビジネス実務演習I | 演 | 1 | ○ | | | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> ビジネス実務演習II | 演 | 1 | ○ | | | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書学概論I | | 2 | | ○ | | | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書学概論II | | 2 | | ○ | | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書実務演習I | 演 | 1 | | ○ | | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 秘書実務演習II | 演 | 1 | | ○ | | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 情報処理論 | | 2 | | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 情報システムの考え方 | | 2 | | | ○ | | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 情報コミュニケーション技術 | | 2 | | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> データ分析の方法 | 演 | 1 | | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> データベース演習I | 演 | 1 | | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> データベース演習II | 演 | 1 | | | ○ | | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 観光学概論 | | 2 | | | | ○ | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 観光英会話I | 演 | 1 | | | | ○ | ○ | | | | |
| <input type="checkbox"/> 観光英会話II | 演 | 1 | | | | ○ | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 観光実務(国内) | | 2 | | | | ○ | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 観光地理I(国内) | | 2 | | | | ○ | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 観光地理II(海外) | | 2 | | | | ○ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 海外事情 | | 2 | | | | ○ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> 観光関連法規・約款 | | 2 | | | | ○ | | ○ | | | |
| <input type="checkbox"/> 旅行運賃実務 | 演 | 1 | | | | ○ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> ツアープランニング演習 | 演 | 1 | | | | ○ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 | | 2 | | | | ○ | | | ○ | | |
| <input type="checkbox"/> ホテルの英語 | 演 | 1 | | | | ○ | | | ○ | | |

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

専攻科 履修要項

専攻科 保育専攻(昼夜開講制)

教育課程は別表18のとおりとする。

1. 修了所要単位は、学則により62単位以上と定められております。選択科目より10単位以上修得しなければなりません。

2. レクリエーションインストラクターの資格を得ようとする者は、①欄のほかに②欄が必修となります。

専攻科 医療保育専攻

教育課程は別表19のとおりとする。

1. 修了所要単位は、学則により47単位以上と定められております。

2. 幼稚園教諭一種免許状を取得する者(幼二種免所有者に限る)は、学士の学位取得(62単位以上必修)に加えて、別表19の幼一種免欄に○印の付された科目を修得することが必要となります。

専攻科 服飾文化専攻

教育課程は別表20のとおりとする。

1. 修了所要単位は、学則により54単位以上と定められております。

2. 選択科目より10単位以上修得しなければなりません。

3. 衣料管理士(1級)の資格を取得するには②欄が必修になります。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義課目を示す。

専攻科 保育専攻(昼夜開講制)

別表18

| チェック欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | ①必修 | ②レク | 履修期 | | | | 備考 | |
|--------|-------------------|-------|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--|
| | | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | | 春秋 | 春秋 | 春秋 | 春秋 | | |
| 専門教育科目 | □ 自然科学概論 | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | □ 児童文学 | | 2 | | | | ○ | | | | |
| | □ 児童文化A | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 児童文化B | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 音楽基礎演習 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 音楽基礎演習 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育英語特論 I～1 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育英語特論 I～2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育英語特論 II～1 | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 保育英語特論 II～2 | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 教育課程論研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育課程論研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育方法・技術研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育方法・技術研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 視聴覚教育研究 I | 演 | 1 | | | | ○ | | | | |
| | □ 視聴覚教育研究 II | 演 | 1 | | | | ○ | | | | |
| | □ 障害児教育研究 I | 演 | 1 | | | | ○ | | | | |
| | □ 障害児教育研究 II | 演 | 1 | | | | ○ | | | | |
| | □ 教育史特論 I | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | □ 教育史特論 II | | 2 | | | | | | ○ | | |
| | □ 幼児教育課程論 I | | 2 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 幼児教育課程論 II | | 2 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 保育指導法研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育指導法研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育学研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 保育学研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 発達心理学研究 I～1 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 発達心理学研究 I～2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 発達心理学研究 II～1 | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 発達心理学研究 II～2 | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 教育心理学研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 教育心理学研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 家族社会学 | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | □ 障害者福祉研究 | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | □ 児童福祉研究 I | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 児童福祉研究 II | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ レクリエーション研究 I | | 2 | | ○ | ○ | | | | | |
| | □ レクリエーション研究 II～1 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| | □ レクリエーション研究 II～2 | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| | □ レクリエーション実習 | 実 | 1 | | ○ | | | ○ | | | |
| | □ 幼児音楽指導法 I～1 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 幼児音楽指導法 I～2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 幼児音楽指導法 II～1 | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 幼児音楽指導法 II～2 | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 図画工作 A | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 図画工作 B | 演 | 1 | ○ | | | ○ | | | | |
| | □ 体育 I | 演 | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | □ 体育 II | 演 | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(健康 I) | 演 | 1 | | | | | ○ | | | |
| | □ 保育内容(健康 II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(人間関係 I) | 演 | 1 | | | | | ○ | | | |
| | □ 保育内容(人間関係 II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(環境 I) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(環境 II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(言語 I) | 演 | 1 | | | | | ○ | | | |
| | □ 保育内容(言語 II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(音楽リズム I) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(音楽リズム II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 保育内容(絵画製作 I) | 演 | 1 | | | | | ○ | | | |
| | □ 保育内容(絵画製作 II) | 演 | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 修了論文 | | 8 | ○ | | | | | | | |
| | □ 道徳の指導法 I | | 1 | | | | | | ○ | | |
| | □ 道徳の指導法 II | | 1 | | | | | | | ○ | |
| 計 | | | 79 | 52 | | | | | | | |

専攻科 医療保育専攻

別表19

| チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | ①必修 | ②幼一免 | 履修期 | | 備考 |
|----------------------------|---------------|-------|----|-----|------|-----|---|---------|
| | | | | | | 春 | 秋 | |
| 専 門 教 育 科 目 | □ 医療社会学 | | 2 | ○ | | ○ | | 1科目以上必修 |
| | □ カンファレンスⅠ | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | □ カンファレンスⅡ | 演 | 1 | | | | ○ | |
| | □ 乳児期の病態生理学 | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | □ 小児医学研究Ⅰ | | 2 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ 小児医学研究Ⅱ | | 2 | ○ | | | ○ | |
| | □ 医療保育論 | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | □ 保育看護Ⅰ | | 2 | ○ | | ○ | | |
| | □ 保育看護Ⅱ | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | □ 乳児保育研究Ⅰ | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | □ 乳児保育研究Ⅱ | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | □ 療養保育研究Ⅰ～1 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | □ 療養保育研究Ⅰ～2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | □ 療養保育研究Ⅱ～1 | 演 | 1 | ○ | | ○ | | |
| | □ 療養保育研究Ⅱ～2 | 演 | 1 | ○ | | | ○ | |
| | □ 療養保育研究Ⅲ | 演 | 1 | | | | ○ | |
| | □ 音楽療法研究 | | 2 | ○ | ○ | | ○ | |
| | □ 家族理解と援助の社会学 | | 2 | ○ | | | ○ | |
| | □ カウンセリング研究Ⅰ | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ カウンセリング研究Ⅱ | 演 | 1 | ○ | ○ | | ○ | |
| | □ 発達臨床心理学研究Ⅰ | 演 | 1 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ 発達臨床心理学研究Ⅱ | 演 | 1 | ○ | ○ | | ○ | |
| | □ 障害児心理学研究 | | 2 | ○ | ○ | | ○ | |
| | □ 病児保育研究 | | 2 | ○ | | | ○ | |
| | □ 障害児保育研究 | | 2 | ○ | ○ | | ○ | |
| | □ 医療保育実習 | 実 | 3 | ○ | | | ○ | |
| | □ 修了論文 | | 2 | ○ | | | | |
| | □ 音楽A | | 2 | | | ○ | | 1科目以上必修 |
| | □ 図画工作A | | 2 | | | ○ | | |
| | □ 体育A | | 2 | | | | | |
| | □ 国語A | | 2 | | | | ○ | |
| | □ 生活A | | 2 | | | | ○ | |
| | □ 保育内容指導法研究 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ 幼児教育課程研究 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ 教育方法技術研究 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | |
| | □ 児童福祉研究 | | 2 | | | ○ | | |
| | □ 地域福祉研究 | | 4 | | | ○ | ○ | |
| | □ 児童館論 | | 2 | | | ○ | | |
| | □ 児童館実習 | 実 | 4 | | | ○ | ○ | |
| 計 | | | 69 | 47 | 20 | | | |

専攻科 服飾文化専攻

別表20

| | チ エ ツ ク 欄 | 授業科目 | 授業の方法 | 単位 | ①必修 | ②一級衣 | 履修期 | | | | 備考 | |
|--------------|--|------|-------|----|-----|------|-----|---|---|---|----|--|
| | | | | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | | | | | | 春 | 秋 | 春 | 秋 | | |
| 服飾文化 | <input type="checkbox"/> 服飾文化特論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 比較経済文化論 | | | 2 | ○ | | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 服飾文化技術論Ⅰ | 演 | | 1 | ○ | | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 服飾文化技術論Ⅱ | | | 1 | ○ | | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> 空間造形特論 | | | 2 | ○ | | | ○ | | | | |
| 被服材料 | <input type="checkbox"/> 高分子化学 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 機能材料学 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 繊維工学特論 | | | 2 | | | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 繊維製品試験法 | | | 2 | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 衣料機器測定法 | 実 | | 2 | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 繊維学特別実験 | 実 | | 1 | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 材料学特別実験 | | | 1 | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 被服構成 | <input type="checkbox"/> 被服人間工学 | | | 2 | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> 被服造形科学 | 実 | | 2 | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 被服造形実習Ⅰ | | | 1 | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 被服造形実習Ⅱ | | | 1 | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> アパレル生産論 | | | 2 | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> ファッションアパレル経営論 | | | 2 | | | | ○ | | | | |
| 被服管理 | <input type="checkbox"/> 被服管理論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| 服飾美・ 服飾心理 | <input type="checkbox"/> 造形芸術論 | | | 2 | ○ | | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 服飾心理学特論 | | | 2 | | ○ | | ○ | | | | |
| 消費環境 | <input type="checkbox"/> 繊維商品学特論 | | | 2 | | ○ | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> 統計学 | 実 | | 2 | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 生活環境学 | | | 2 | ○ | | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 生活環境実験 | | | 1 | | | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> テキスタイルアドバイザー論 | 実 | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 家庭経営学研究 | | | 2 | | | | | | ○ | | |
| | <input type="checkbox"/> 衣料管理実習 | 演 | | 1 | | ○ | | ○ | | | | |
| 情報処理 | <input type="checkbox"/> 生活情報特論 | 演 | | 2 | | | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 情報処理特別演習Ⅰ～1 | 演 | | 1 | | | ○ | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 情報処理特別演習Ⅰ～2 | | | 1 | | | | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 情報処理特別演習Ⅱ～1 | | | 1 | | | | | ○ | | | |
| | <input type="checkbox"/> 情報処理特別演習Ⅱ～2 | | | 1 | | | | | | ○ | | |
| 特別研究 | <input type="checkbox"/> 外国論文講読 | | | 2 | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 特別研究 | | | 8 | ○ | | | | | | | |
| 計 | | | | 64 | 44 | | | | | | | |

免許・資格取得の課程履修登録(短期大学部)

教員免許状及び諸資格を取得するための課程を選択履修する者は、次の手続きをしてください。

(1) 手続き方法

SEITOKU CAMPUS CARD (学生証) に履修費をチャージ (入金) し、指定の期日までに学生情報端末で申請手続きをしてください。手続き期間については、掲示にてお知らせいたします。(保育科、専攻科生は 1 年次の 4 月中に、総合文化学科は 1 年次の 7 月が手続き期間となります。)

学生情報端末の利用については、学生便覧を参照してください。

(2) その他

- ① 保育科の学生は、幼稚園教諭二種免許、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。
- ② 保育科の学生で、幼稚園教諭二種免許、保育士資格の両方を取得する場合は、忘れずに両方の課程登録をしてください。
- ③ 履修登録の届けをしないで履修しても、課程は認定されません。
- ④ 履修途中において選択課程の登録を取消す場合は、正保証人連署の課程履修取消願いをクラス担任および科目担当教員の了承を得て指定期日までに、教育支援課に提出してください。(ただし、必修とする免許・資格の課程は取消できません。また、課程履修費は返金されませんので、必ずクラス担任の先生と相談をしてください。)

別表21

| 免許・資格名 | | 履修費 | 登録できる学科 (○印が可能) | | | |
|--------|--------------------------|--------|-----------------|--------|-----|----------------|
| | | | 保育科 | 総合文化学科 | 専攻科 | 備考 |
| 教員免許状 | 幼稚園教諭二種免許状 | 30,000 | ○ | | | |
| 国家資格 | 保育士 | 60,000 | ○ | | | |
| | 図書館司書 | 20,000 | ○ | ○ | | ※保育科は第一部のみ取得可能 |
| 民間資格 | フードスペシャリスト (受験資格) | - | | ○ | | |
| | インテリアプランナー (受験対策講座) | - | | ○ | | |
| | レクリエーション・インストラクター | 20,000 | | | ○ | ※保育専攻のみ取得可能 |
| | 衣料管理士 (テキスタイルアドバイザー) 2 級 | 40,000 | | ○ | | |
| | ビジネス実務士 | 40,000 | | ○ | | |
| | 情報処理士 | - | | ○ | | |
| | 秘書士 | 40,000 | ○ | ○ | | ※保育科は第一部のみ取得可能 |
| | 観光ビジネス実務士 | 20,000 | | ○ | | |

[注] ① レクリエーション・インストラクターの学外実習費は別に徴収します。

② 上記以外の課程については、登録料手続きの際にお知らせいたします。